



PARAMOUNT BED

cococia Y Ū K I R I S E

結起 Rise

ドライタイプ・通気タイプ

KE-941U

KE-941T

KE-942U

KE-942T

KE-943U

KE-943T

KE-944U

KE-944T



パラマウントベッド株式会社

取扱説明書

まえがき

このたびは、エアマットレス こちあ結起 Rise シリーズをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この「取扱説明書」には、本製品を安全にお使いいただくための注意事項と使用方法などを記載しています。

- 本製品をお使いになる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してください。
- この「取扱説明書」はお読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。
- お買い上げの製品は改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。
- 動作範囲・寸法・角度・質量などの数値の記載がある場合、その数値には多少の誤差が含まれます。特別なものを除きこの「取扱説明書」では、表示を見やすくするため、約・およそといった言葉を省略しております。
- ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または直接弊社までお問い合わせください。
- 本製品は日本国内専用です。海外では電源電圧が異なるため使用できません。

本製品について	3	設定リセット	31
使用目的.....	3	CPR 機能.....	32
各部の名称.....	4	停電対策機能.....	33
安全に関する注意事項	8	お手入れと点検	34
安心・安全のために.....	8	お手入れ.....	34
シンボルについて.....	11	お手入れの際の注意.....	34
設置・運搬	12	カバー類の清拭.....	35
設置方法.....	12	トップカバー（ドライタイプ）の洗浄..	35
運搬方法.....	16	トップカバー（通気タイプ）の洗浄.....	36
機能と使用方法	17	グライドシート・ウレタンフォームの洗浄.....	37
操作パネルの名称と機能.....	17	ボトムカバー（通気タイプ）の洗浄.....	39
使用開始のしかた.....	19	ポンプ本体の清拭.....	43
各機能の設定.....	20	エアセルの清拭.....	47
かたさ自動運転.....	20	操作パネルの清拭.....	48
かたさ手動運転.....	21	ACアダプターの取り付け・取り外し...48	
しっかりモード設定.....	23	点検	50
圧切替設定.....	24	フィルターの点検.....	50
操作音設定.....	25	フィルターの交換.....	51
除湿設定.....	26	日常点検.....	52
自動背抜き設定.....	27	定期点検.....	53
ヘッドアップ設定.....	28	困ったときは	54
背部サポート設定.....	29	エラーコードが表示されたら	54
でん部サポート設定.....	30	エラー発生時の操作パネルの表示内容..	54
		エラーコード「H02」.....	55

エラーコード「H03」	55	仕様	77
エラーコード「H07」	55	仕様	77
エラーコード「H08」	56	ドライタイプ	77
エラーコード「U00」	56	通気タイプ	78
エラーコード「U02」	57	適合品	79
エラーコード「U08」	58	適合ベッド一覧	79
エラーコード「U09」	58	その他の適合品	80
エラーコード「U10」	59	アフターサービス	81
エラーコード「U11～U13」	60	アフターサービスについて	81
エラーコード「U14～U17」	61	お問い合わせ先	82
エラーコード「U20」	62		
エラーコード「U21～U29」	63		
エラーコード「U31」	64		
エラーコード「U34」	65		
動作確認【手順A】	66		
動作確認【手順B】	66		
動作確認【手順C】	67		
故障かな？と思ったら	68		
エアマットレス本体関連	68		
機能・動作関連	70		
操作パネル関連	72		
ポンプ本体関連	73		
こんなときは	74		
長期保管・輸送	74		
廃棄	76		

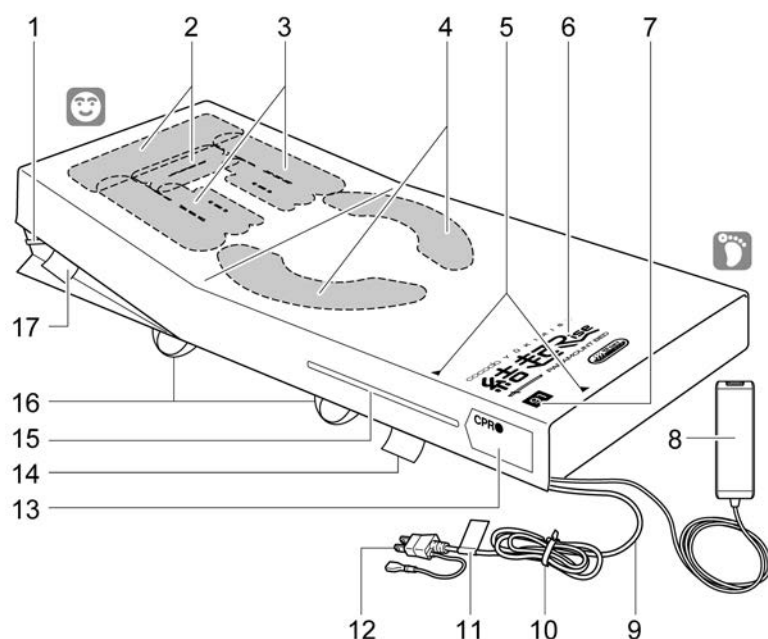
使用目的

使用目的

こことあ結起 Rise シリーズはポンプ内蔵型のアアマットレスであり、医療施設・高齢者施設やご家庭で療養される際に、身体にかかる圧力を分散させることを目的に作られています。

- ※ 床ずれ予防は専門家にご相談ください。本製品だけでは床ずれは予防できません。全身的な管理（栄養状態の管理、基礎疾患の管理など）が必要です。床ずれ予防を行うにあたっては医師、看護師、介護相談員などの専門家にご相談ください。
- ※ 本製品は、総合的な床ずれケアのためのひとつの道具で、体位変換を不要にするものではありません。本製品の使用と並行して、体位変換などのケアを行ってください。
- ※ 本製品の背部・でん部サポート機能は背あげ後の姿勢保持をサポートするものであり、転落を防止するものではありません。

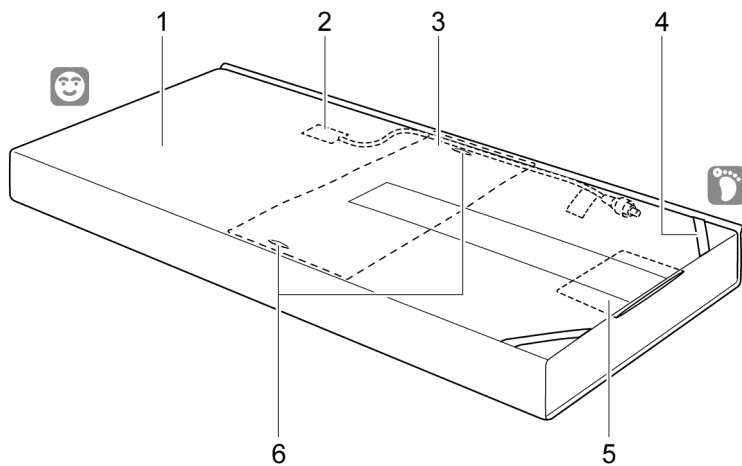
エアマットレス本体（表）



No.	名称	参照
1	シーツストッパー（頭側）	☞ 設置方法(P.12)
2	ヘッドアップセル	☞ ヘッドアップ設定(P.28)
3	背抜きセル（左・右）	☞ 自動背抜き設定(P.27)
4	でん部サポートセル	☞ でん部サポート設定(P.30)
5	ポンプ位置マーク	—
6	製品ロゴ	—
7	サイズ印字	—
8	操作パネル	☞ 操作パネルの名称と機能 (P.17) ☞ 操作パネルの清拭(P.48)
9	電源コード	—
10	ケーブルクランプ	—
11	警告ラベル	—
12	電源プラグ（アース線付）	☞ 設置方法(P.12)
13	CPR 印字	—
14	品質表示ラベル	—
15	CPR ファスナー	☞ CPR 機能(P.32)
16	取っ手	☞ 運搬方法(P.16)
17	警告・注意ラベル	☞ シンボルについて(P.11)

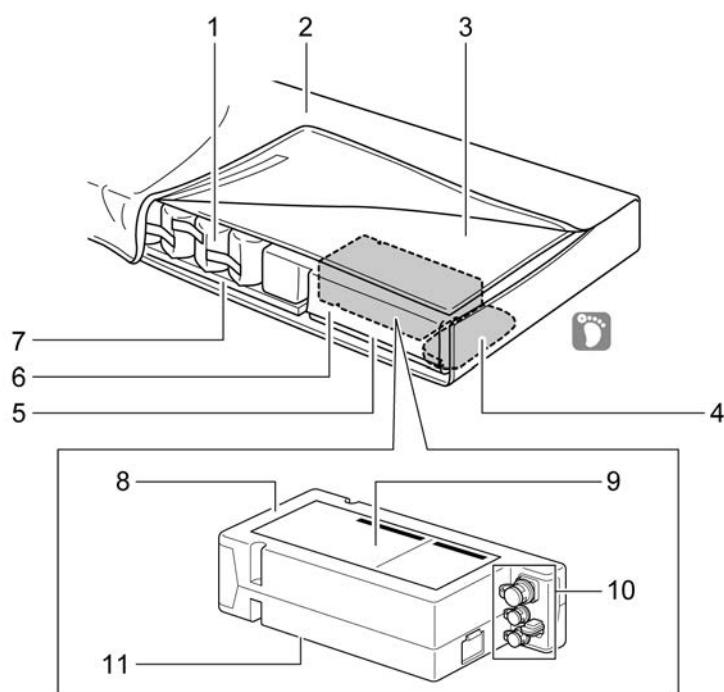
各部の名称

エアマットレス本体（裏）



No.	名称	参照
1	ボトムカバー	 ボトムカバー（通気タイプ）の洗浄 (P.39)
2	背角度センサー	—
3	ウレタンカバー	—
4	シーツストッパー（足側）	 設置方法(P.12)
5	収納ポケット	 設置方法(P.12)  長期保管・輸送(P.74)
6	ベッドリンクケーブル通し穴	—

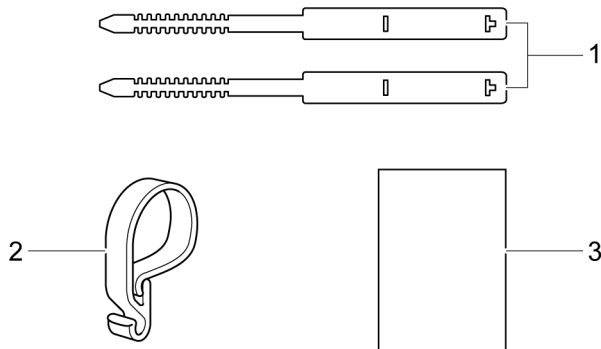
ポンプ本体周辺





No.	名称	参照
1	エアセル	☞ エアセルの清拭(P.47)
2	トップカバー	☞ トップカバー（ドライタイプ）の洗浄(P.35) ☞ トップカバー（通気タイプ）の洗浄(P.36)
3	グライドシート（内側にウレタンフォーム）	☞ グライドシート・ウレタンフォームの洗浄(P.37)
4	AC アダプター収納部	☞ AC アダプターの取り付け・取り外し(P.48)
5	ポンプカバー取付ファスナー	☞ ポンプ本体の清拭(P.43)
6	ポンプカバー	—
7	ボトムクッション	—
8	ポンプ本体	☞ ポンプ本体の清拭(P.43)
9	安全ラベル	—
10	ケーブル接続部	—
11	製品識別表示ラベル（底面に貼付）	☞ アフターサービスについて(P.81)

各部の名称



その他付属品

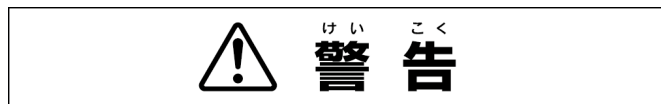


No.	名称	参照
1	ベッド配線用クランプ (2個)	 設置方法(P.12)
2	コードクリップ (1個)	 設置方法(P.12)
3	取扱説明書 (1冊)	—

安心・安全のために

ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度に応じて「警告」と「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡または重傷（骨折・圧迫・麻痺など）を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷（打撲・すり傷・切り傷など）を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。



- チューブ（ドレーン）などが本製品とベッドやベッドサイドレールなどとのすき間にはさまれないように注意してください。抜けたり、つぶれたりするおそれがあります。
- 身体の一部が本製品とベッドやベッドサイドレールなどとのすき間に入った状態で操作パネルを操作しないでください。すき間にはさまれて、けがをするおそれがあります。
- 乳幼児やお子様には使用しないでください。本製品とベッドサイドレールなどのすき間に身体の一部がはさまれてけがをしたり、圧迫されて窒息したりするおそれがあります。
- ベッドの幅・長さにあわせたものをご使用ください。意図せぬすき間が発生し、はさまれてけがをするおそれがあります。

- 人が乗った状態での移動はしないでください。人が転落してけがをしたり、破損するおそれがあります。
- 本製品の上で立ちあがったり、飛び跳ねたりしないでください。転落・転倒してけがをしたり、本製品が破損したりするおそれがあります。
- 使用する方の容体にあわせて使用してください。使用する方の容体によっては、本製品の操作で容体を悪化させるおそれがあります。
- 利用者体重（20～180kg）の範囲外の方に使用しないでください。また、ポンプ位置に使用する方の足が乗らないようにしてください。効果的に体圧を分散できません。
- 複数の方が同時に本製品に乗らないでください。効果的に体圧を分散できず床ずれが発生したり、破損したりするおそれがあります。
- 長時間うつぶせ寝をしないでください。窒息するおそれがあります。
- ポンプ本体およびケーブル接続部に強い衝撃を加えたり、腰・膝などで人の荷重をかけたりしないでください。ポンプ本体が破損・変形し、感電・火災のおそれがあります。
- エアマットレス本体とポンプ本体の接続部分に強い衝撃を加えたり、腰・膝などで人の荷重をかけたりしないでください。カプリングが外れて空気が抜け、効果的な体圧分散ができなくなるおそれがあります。
- コード類（電源コードなど）・電源プラグをベッドの可動部ではさんだり、ベッドで踏みつけたり、無理な力を加えたり、重いものを載せないでください。破損し、感電・火災のおそれがあります。傷んだコード類は修理（交換）を依頼してください。
- 電源プラグを濡れた手で抜き差ししないでください。感電したり、故障したりするおそれがあります。

安心・安全のために

- 電源プラグにほこりを付着させないでください。感電・火災のおそれがあります。電源プラグの表面にほこりが付着している場合、乾いた布などでよく拭き取ってください。
- 電源プラグに無理な力を加えないでください。また抜く際は、電源プラグを持って抜いてください。電源プラグが破損したり、コードが傷んで感電・火災のおそれがあります。
- 電源は直接コンセントからとってください（ACアダプターを使用する場合のみ）。延長コードの容量を超える電気製品を同時に接続して使用すると、電源コードや電源プラグが発熱して火災のおそれがあります。
- ポンプ本体をゆかに落としたり、壁などにぶついたりしないでください。破損し、感電・火災の原因となります。
- お手入れ以外で背角度センサーや操作パネル、電源ケーブルなどのケーブル類をポンプ本体から外さないでください。誤動作の原因となります。
- 操作が理解できないと思われる方（12歳以下のお子様や認知症の方など）に操作させないでください。すき間に身体がはさまれてけがをしたり、効果的に体圧を分散できず床ずれが発生したりするおそれがあります。
- 心臓マッサージなどの緊急対応が必要なときは、CPR機能を使用してください。迅速な処置ができなくなり、症状が悪化するおそれがあります。
- 壁などに立てかけないでください。倒れて破損し、感電・火災のおそれがあります。
- MRIなどの強い電磁波環境に置かないでください。誤動作や故障の原因となります。
- 本製品の上でタバコを吸ったりしないでください。火災などの原因となります。
- 側地や詰め物が汚れたり、破損したりした状態では使用しないでください。汚物や血液などの汚れが本製品の内部に染み込み、感染症を引き起こす原因となる場合があります。
- 水などをこぼさないでください。電装品がショートして感電や故障の原因となります。
- 携帯電話などをポンプ本体の近く（30cm以内）で使用しないでください。本製品が誤動作するおそれがあります。
- 電気掛毛布などの電気製品を使用する場合は、温度を40℃以下にしてください。ポンプ本体が発熱し、火災や故障のおそれがあります。電気製品の取扱説明書などで、安全な使用方法をご確認のうえご使用ください。
- 電子治療器を同時に使用するときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。故障や誤動作の原因となります。
- お客様による修理・改造はしないでください。思わぬけがや破損の原因となります。
- 本製品が被災した場合は点検・修理を依頼してください。電装品のショートや漏電による感電・火災や本製品の破損・変形による動作の異常によって、けがをするおそれがあります。
- フットパネル（KQ-PC0*C）を取り付けたベッド（KQ-C**B/C/D/E*）で使用するときは、マットレスストッパー（KQ-PC00D）を使用してください。エアマットレスが落下して転落・転倒し、けがをするおそれがあります。マットレスストッパー（KQ-PC00D）の取扱説明書に従って正しくご使用ください。



- 本製品を落とさないでください。カプリングが破損するおそれがあります。
- 物を載せた状態で動作させないでください。物が落下し、破損するおそれがあります。
- 氷まくらや保冷剤などの冷却作用のあるものは直接載せないでください。結露により劣化するおそれがあります。
- お手入れ以外でウレタンカバーを開けないでください。故障の原因となります。
- スプレータイプの殺虫剤を直接噴射しないでください。変色したり、破損・溶解して思わぬけがをするおそれがあります。
- 空気を入れた状態で無理に折り曲げないでください。破損・変形するおそれがあります。
- ポンプ本体とエアセルのすき間に足の指などをはさまないように注意してください。けがをするおそれがあります。

シンボルについて

シンボルについて

警告・注意ラベルにあるシンボルマークは下記の内容を表しています。

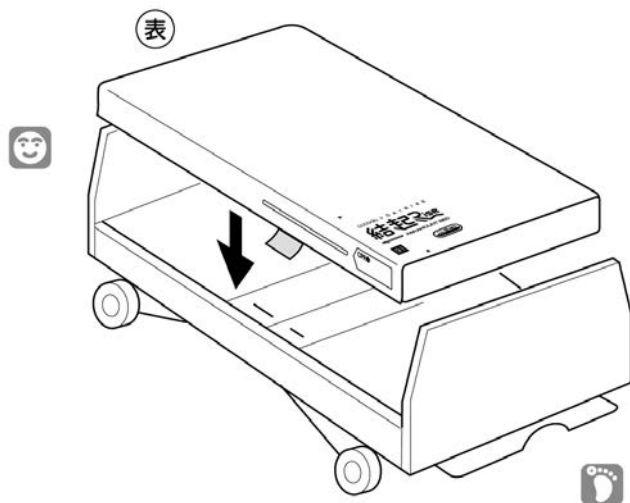
シンボル	内容
	本製品はベッドの背あげ後に頭部のエアセルが自動で膨らみます。膨らんだ後は必ず利用者の状態を確認し、状況に応じて枕などを外してください。
	電源コードのはさみ込みに注意してください。電源コードが破損し、感電・火災のおそれがあります。
	電源コードはベッド（エアマットレス）への乗り降りやベッドサイドテーブルなどを使用しない側に配線してください。電源コードに足を引っ掛けて転倒したり、電源コードの外れ・破損などにより感電・火災のおそれがあります。
	身体のはさまれに注意してください。ベッドサイドレールやベッド用グリップなどの製品やベッドと、本製品とのすき間に身体をはさまれると、けがをしたり、圧迫により窒息したりするおそれがあります。また本製品は、沈み込みやすいので十分注意してください。
	本製品を使用する際はベッドサイドレールを併用し、ベッドサイドレール使用時もベッドからの転落に十分注意してください。ベッドサイドレールを乗り越えて転落し、けがをするおそれがあります。
	乗り降りしたり、端座位をとったりする際には転落・転倒に注意してください。『しっかりモード』でエアマットレス全体を硬くしてから、介護する方や付き添いの方などが身体を支えてあげるかベッド用グリップなどを持たせて滑り落ちないようにしてください。
	側地（トップカバー）のファスナーやポンプカバーが開いた状態で使用しないでください。本製品の内部に水分などが浸入し、ショートして感電したり、故障したりする原因となります。
	本製品を移動する際は、ポンプの落下や壁などへの衝突に注意してください。故障の原因となります。
	エアマットレス本体に針など鋭利なものを接触させたり、衣服のポケットに鋭利なものを入れた状態で使用したりしないでください。内部のエアセルが破損するおそれがあります。
	火気または温度の高いものを近づけないでください。変質・変形・発火などの原因となります。

設置方法

下記の手順で本製品をベッドに設置してください。

1. 本製品をベッドに設置する

- ベッドのボトムをフラットな状態で設置してください。ベッドの操作については、ベッドの取扱説明書を参照してください。
- ベッドのボトム上に障害物がないことを確認してください。
- 製品ロゴがある面を表にし、品質表示ラベルが使用する方の足側になるように設置してください。



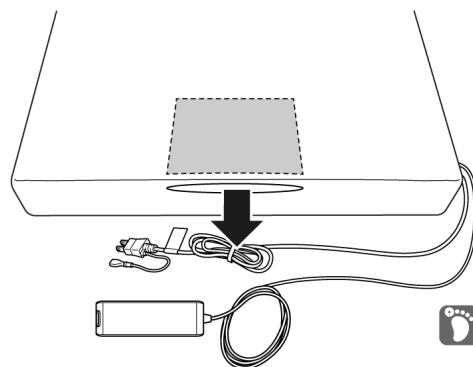
⚠ 警告

- 表・裏、頭側・足側を正しく設置して使用してください。効果的に体圧を分散できないおそれがあります。
- 本製品はベッド上に直接設置し、本製品の上にはシーツやマットレスパッド以外のものを敷かないでください。効果的に体圧分散できなくなるおそれがあります。また、厚みが増すとベッドサイドレールを乗り越えて転落したり、ベッドサイドレールとのすき間に身体をはさまれたりして、けがをするおそれがあります。

- 本製品がベッドやマットレス止めからはみ出して滑り落ちないようにしてください。使用の方が転落・転倒するおそれがあります。
- 本製品を載せたままベッドを搬送する際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグや電源コードが破損・断線して、感電・火災のおそれがあります。

2. 電源コードと操作パネルを取り出す

エアマットレス側面（足側）の収納ポケットから電源コードと操作パネルを取り出してください。

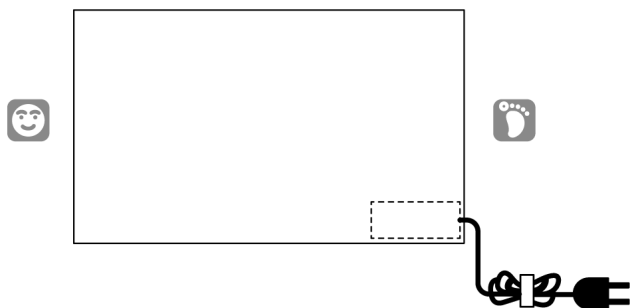


3. 電源コードを配線する

Note

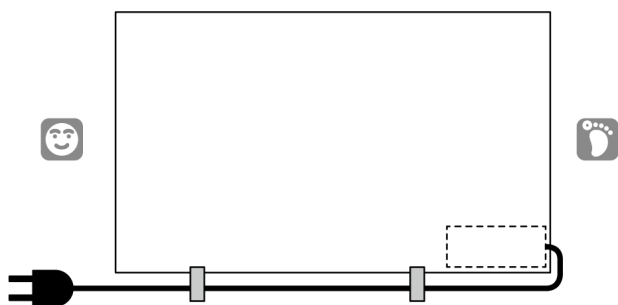
本製品はアース線をつなぐ必要はありません。

- ベッドの足側にコンセントがある場合は、電源コードがベッド内部やベッドの下を通らないように配線してください。

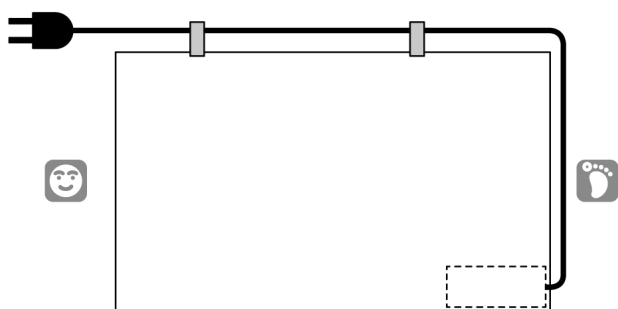


- ベッドの頭側にコンセントがある場合は、電源コードをベッド配線用クランプでベッドに固定してください。(2ヶ所)

ベッド右側に配線する場合



ベッド左側に配線する場合



Note

ベッドの頭側にコンセントがある場合の電源コードの配線方法は、ベッドの種類によって異なります。配線方法については、下記の二次元バーコードを読み取っていただくか、下記 Web サイトをご覧ください。

https://www.paramount.co.jp/cms/pdf/user%27s_manual/200917rirakuflow_setuzoku_Ver00.pdf



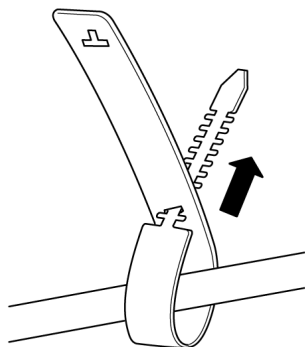
警告

- 電源コードは、本製品への乗り降りやベッドサイドテーブルなどを使用しない側に配線してください。電源コードに足を引っ掛けて転倒するおそれがあります。また、電源コードの破損などにより、感電・火災のおそれがあります。
- 電源コード・電源プラグは正しく配線してください。間違った配線をするおそれがあります。また、電源コードがベッドの可動部にはさまれて断線し、感電・火災のおそれがあります。
- 高さ調節・膝あげ機能付きのベッドの場合は、高さ・膝を最大まであげた状態で配線してください。あげた状態で配線しないと、使用中に高さ・膝をあげた際に電源コードが引っ張られて断線し、火災のおそれがあります。

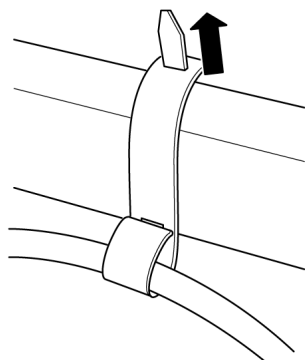
4. 電源コードを固定する

下記の手順で電源コードをベッドに固定してください。

1. 電源コードを巻き込みながら、ベッド配線用クランプ中央の穴にベッド配線用クランプ先端部を差し込んで輪を作る。



2. ベッド配線用クランプの余った部分をベッドの台車に巻きつけ、先端部を端の穴に差し込んで固定する。



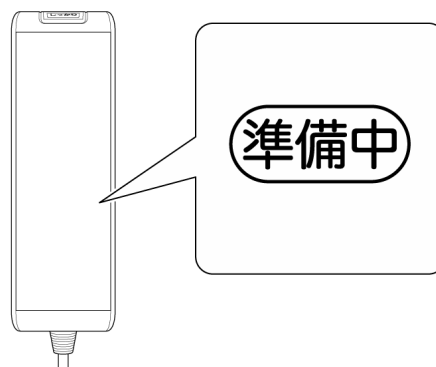
3. 固定後、ベッド配線用クランプが左右にずれないこと、電源コードが無理に引っ張られていないことを確認する。

締め付けがゆるい場合は、ベッド配線用クランプ端部を再度締め付け、確実に固定してください。

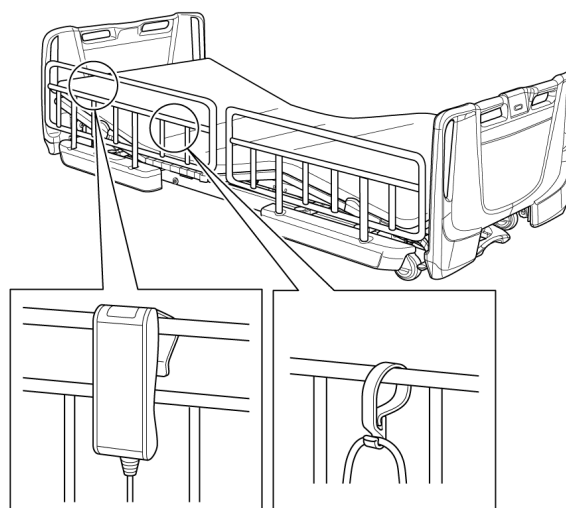
5. 電源プラグをコンセントに差し込む

- 電源プラグをコンセントに差し込むと、しばらくしてから自動的にエアセルに空気が入ります。
- 空気注入中は、操作パネルに「準備中」表示が点灯します。空気注入が完了すると「準備中」表示が消灯します。（空気注入完了時間：10分）

※ 製品状態や環境により空気注入が10分以上かかることもあります。



- 操作パネルは、フックやコードクリップを利用して、ベッドサイドレールやベッドのフットボード上部に引っ掛けてください。



Note

ターボ運転機能

電源が供給された際やしっかりモードを ON にした際にエアマットレスを高速で膨張させます。ターボ運転時はポンプの音が通常よりも大きくなります。

警告

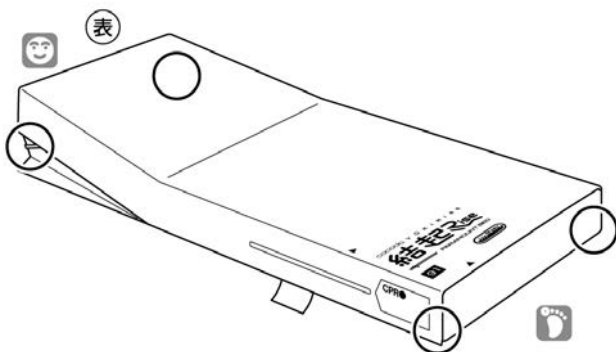
ポンプ本体や操作パネル、ベッドリンクケーブル（別売）などの電装品の扱いに注意し、踏みつける・ぶつける・引っ張る・水をかけるなどの行為はしないでください。本製品が誤動作してけがをしたり、故障の原因となったりします。また、ショートなどにより感電・火災のおそれがあります。

6. シーツを取り付ける

シーツストッパーは、エアマットレスの四隅にあります。

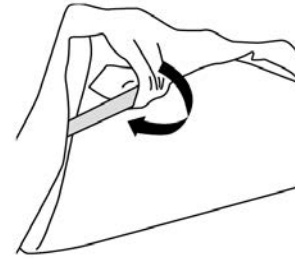
Note

シーツストッパーはシーツ掛け以外の目的で使用しないでください。

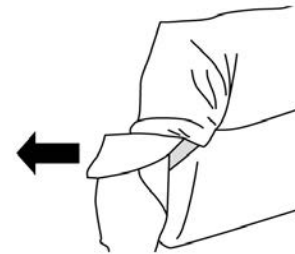


1. エアマットレスをシーツで覆い、シーツストッパーにシーツの端を差し込む。

※ 必要に応じてタオルやマットレスパッドなどを敷いてください。

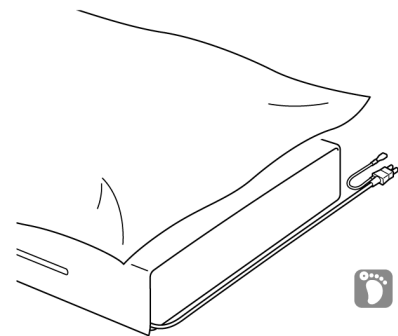


2. シーツの端を内側から外側に向かってゆるまなようにしっかりと引っ張る。



警告

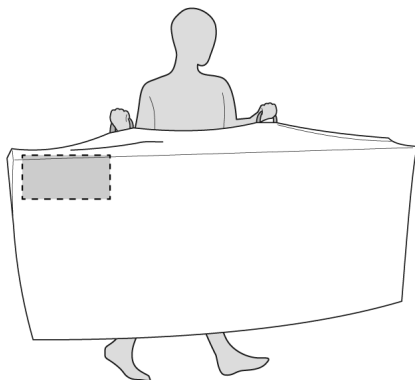
電源コードをポンプ本体の左右反対側に配線する場合は、マットレス幅方向に電源コードを沿わせ、シーツで覆ってください。ベッドサイドレールを足側に格納している際に引っ掛かり、断線して感電・火災のおそれがあります。



運搬方法

空気が入った状態で運搬する場合

電源ケーブルと操作パネルを収納ポケットにしまい、取っ手を持って移動してください。

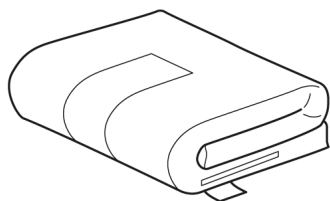


Note

エアマットレス本体に空気が入っていない状態で取っ手を使用すると、ボトムクッションの位置がずれるおそれがあります。

空気が入っていない状態で運搬する場合

本製品を丸めてから移動してください。



注意

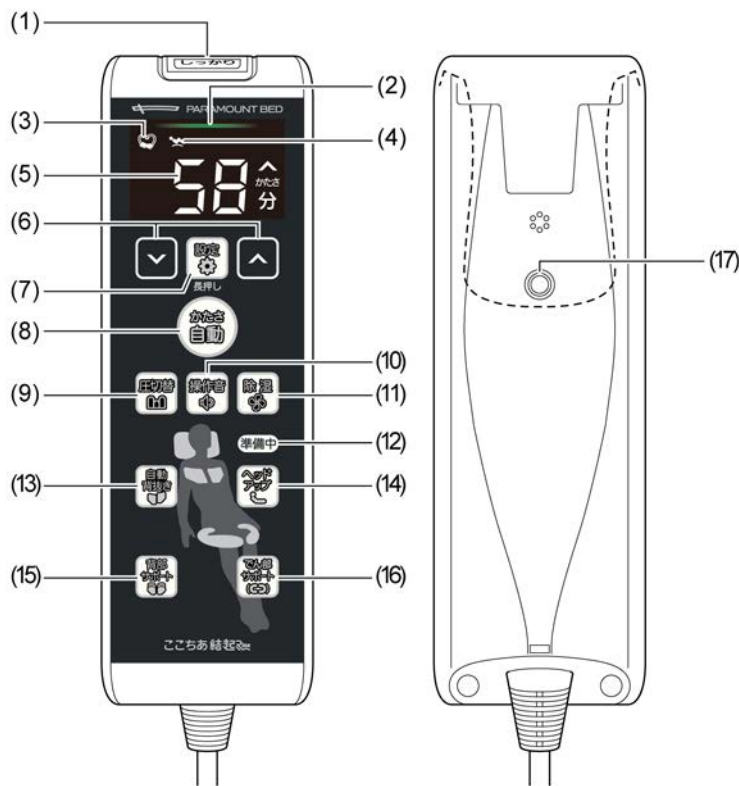
- 電源ケーブルと操作パネルを収納ポケットにしまってから運搬してください。ケーブルに足などを引っ掛けて転倒したり、ケーブルが破損したりするおそれがあります。
- シーツストッパーや取っ手が周囲に引っ掛からないように注意してください。破損・変形するおそれがあります。

- ポンプ本体の落下や壁などに衝突しないように注意してください。ポンプ本体に強い衝撃を加えると、ポンプ本体が破損・変形したり、カプリングが外れてエアマットレスから空気が抜け、効果的な体圧分散ができなくなるおそれがあります。
- エアマットレス本体を壁や地面に接触しないように注意してください。破損・変形するおそれがあります。
- 空気を入れた状態のエアマットレスを無理に折り曲げないでください。破損・変形するおそれがあります。

操作パネルの名称と機能











操作パネルの名称と機能

操作パネルでエアマットレスの機能を設定できます。



No.	名称・機能	参 照
(1)	しっかりモードボタン しっかりモードの ON/OFF を設定します。	📖 しっかりモード設定(P.23)
(2)	電源ランプ <ul style="list-style-type: none"> ● 緑点灯：作動中 ● 橙点灯：軽微エラー ● 橙点滅：重度エラー 	—
(3)	ベッドからの電源供給機能表示 ベッドリンクケーブルとポンプ本体が接続していると表示します。	—
(4)	姿勢検知による内圧上昇時 <ul style="list-style-type: none"> ● 長座位を検知：点灯 ● 仰臥位を検知：消灯 	—
(5)	状態表示 エアマットレスの運転状態や各種設定状態などを表示します。	—
(6)	調節ボタン <ul style="list-style-type: none"> ● マットレス幅（83cm 幅／91cm 幅）を設定します。 ● かたさ自動運転を OFF にしたときに、かたさを設定します。 ● ヘッドアップ設定を ON にしたときに、かたさを設定します。 	—

操作パネルの名称と機能

No.	名称・機能	参 照
(7)	設定ボタン 各機能の設定を変更・確定します。	—
(8)	かたさ自動ボタン かたさ自動運転とかたさ手動運転を切り替えます。	 かたさ自動運転(P.20)  かたさ手動運転(P.21)
(9)	圧切替ボタン 圧切替の ON/OFF を設定します。	 圧切替設定(P.24)
(10)	操作音ボタン 操作音の ON/OFF を設定します。	 操作音設定(P.25)
(11)	除湿ボタン 除湿機能の ON/OFF を設定します。	 除湿設定(P.26)
(12)	準備中表示 電源投入後の空気注入中に点灯します。	—
(13)	自動背抜きボタン 自動背抜き機能の ON/OFF を設定します。	 自動背抜き設定(P.27)
(14)	ヘッドアップボタン ヘッドアップ機能の ON/OFF を設定します。	 ヘッドアップ設定(P.28)
(15)	背部サポートボタン 背部サポート機能の ON/OFF を設定します。	 背部サポート設定(P.29)
(16)	でん部サポートボタン でん部サポート機能の ON/OFF を設定します。	 でん部サポート設定(P.30)
(17)	メンテナンスボタン フィルター確認モードを起動します。	 フィルターの点検(P.50)

使用開始のしかた

警告

かたさ自動運転を使用する場合は、エアマットレス本体のサイズ印字の幅と操作パネルの幅設定が同じであることを確認してください。エアマットレス本体のサイズ印字の幅と操作パネルの幅設定が異なると、効果的に体圧を分散できず、床ずれが発生するおそれがあります。



かたさ自動運転(P.20)

電源プラグをコンセントに差し込むと、かたさ自動運転が開始します。使用する方が臥床すると、かたさ自動運転により 5~15 分程で使用する方の体重や体型、寝姿勢にあわせたかたさ（エアセルの内圧）に設定されます。



Note

かたさ自動運転中に使用する方が離床すると、かたさは 5 に設定されることがありますが故障ではありません。

電源 OFF 後の機能維持

- 次の場合、各機能の設定は直前の設定が維持されます。
 - 停電後に電源が復旧した場合
 - 電源プラグを抜いてから差込んで再起動させた場合
- しっかりモードは直前の残り時間が維持されま
す。かたさ手動運転でかたさ「18^h」を使用
していた場合は、かたさ「18」になります。

各機能の設定



各機能の設定変更は、本書に記載している各機能の説明をよく読み、ご理解されてから行ってください。

- 各機能の設定は医師や看護師、介護相談員などの専門家にご相談のうえ、使用する方の状態にあわせて調整してください。
- 不適切な状態に設定すると、効果的に体圧が分散できず床ずれが発生したり、期待する効果がでず、使用する方の健康に影響をおよぼしたりするおそれがあります。

かたさ自動運転

- 使用する方が臥床すると、体重や体型、寝姿勢にあわせたかたさ（マットレス内圧）に自動設定されます。

初期設定：かたさ自動運転 ON、かたさ 5

- 設定かたさはしばらく表示された後に消灯します。かたさ自動ボタンを押すことでしばらく表示されます。

Note

- かたさ自動運転中に使用する方が離床すると、かたさは5に設定されることがありますが故障ではありません。
- 使用する方が臥床すると、5～15分程で使用する方の体重や体型、寝姿勢にあわせたかたさに設定されます。
- かたさ自動運転中はでん部サポートセルが膨らむことがありますが故障ではありません。

設定方法

1. 設定ボタンを2秒ほど長押しする。

各種設定ボタンが点灯します。



各機能の設定

2. かたさ自動ボタンを押す。

ボタンを押すごとに、かたさ自動運転とかたさ手動運転が切り替わります。

かたさ自動運転時：点灯（初期設定）

かたさ手動運転時：消灯



3. 必要に応じて、マットレス幅を設定する。

「91」表示：[V]ボタンを押すと「83」に変更します。

「83」表示：[^]ボタンを押すと「91」に変更します。



4. 設定ボタンを押す。

設定が完了し、各種設定ボタンが消灯します。



Note

操作しないまま 10 秒経過しても、設定が完了します。

かたさ手動運転

かたさ自動運転を解除すると、エアセルの内圧を手動で変更できます。

Note

本製品は使用する方の体重を測定することを目的とした機器ではありません。

設定方法

1. 設定ボタンを 2 秒ほど長押しする。

各種設定ボタンが点灯します。



2. かたさ自動ボタンを押す。

ボタンを押すごとに、かたさ自動運転とかたさ手動運転が切り替わります。

かたさ自動運転時：点灯（初期設定）

かたさ手動運転時：消灯



3. 調節ボタンを押して、かたさを調節する。

かたさ調節は 2～18∧の 18 段階です。（初期かたさ：5）



かたさ ※1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
体重 (kg)	20～ 24	25～ 34	35～ 44	45～ 54	55～ 64	65～ 74	75～ 84	85～ 94	95～ 104
かたさ ※1	11	12	13	14	15	16	17	18	18∧
体重 (kg)	105 ～ 114	115 ～ 124	125 ～ 134	135 ～ 144	145 ～ 154	155 ～ 164	165 ～ 174	175 ～ 180	※2

※1：拘縮や骨突出などが無い方が安静に平らな状態で寝た時の目安

※2：高体重の方が背あげ時に底づいてしまう場合、かたさ 18 より 1 つ上のかたさ「18∧」をご使用ください。（120 分経過すると自動的にかたさが 18 になります。）

4. 設定ボタンを押す。

設定が完了し、各種設定ボタンが消灯します。



Note

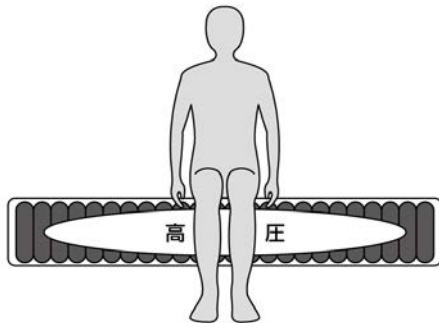
- 操作しないまま 10 秒経過しても、設定が完了します。
- 各かたさはエアマットレスとして柔らかく使用できる内圧の範囲を 20～180kg で割り振ったものであり、かたさの数字とエアセルの内圧が比率するものではありません。（例：かたさ 4 はかたさ 2 の 2 倍のかたさではありません）

しっかりモード設定

使用する方のベッドの移乗やリハビリなどを行いやすいようにエアセルの内圧を上昇させます。(体重によらず、同じ内圧になります)

警告

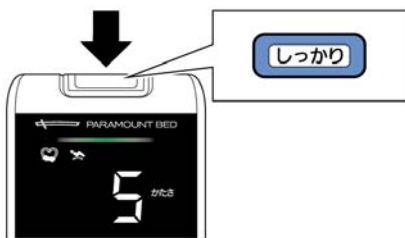
しっかりモードでベッドの背をあげる際は、使用する方の状態に注意してください。エアマットレスが屈曲しにくいいため、滑り落ちたり、転落したりして、けがをするおそれがあります。



モード ON の操作

1. しっかりモードボタンを押す。

ボタンが青く点灯し、しっかりモードが作動 ON になります。



状態表示に残り時間が表示されます。



Note

しっかりモードボタンを押すと、ターボ運転が作動し、エアマットレス全体が急速に膨張して硬くなります。ターボ運転時はポンプの音が大きくなり、操作パネルの「準備中」表示が点灯します。

モード OFF の操作

1. しっかりモード運転中 (青点灯時) に、しっかりモードボタンを押す。

ボタンが消灯し、しっかりモードが作動 OFF になります。



表示が通常に戻ります。

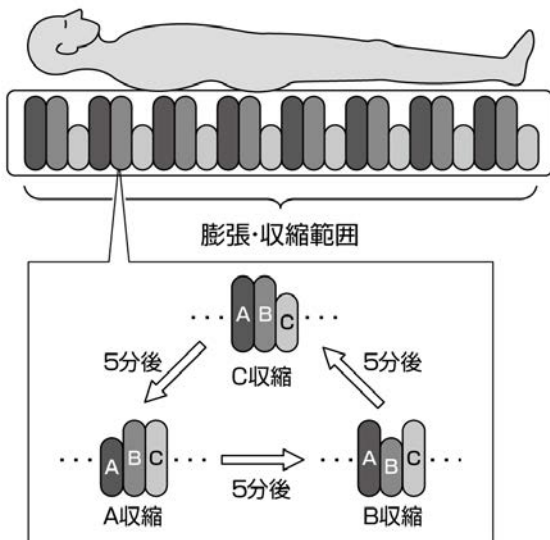


Note

- 60 分経過すると自動的に OFF になります。
- 各機能の設定は、しっかりモードを ON にする前の設定に戻ります。

圧切替設定

エアセルが3連切替で順次膨張収縮を繰り返し、身体にかかる圧力を順次開放します。



設定方法

1. 設定ボタンを2秒ほど長押しする。
各種設定ボタンが点灯します。



2. 圧切替ボタンを押す。

ボタンを押すごとに、設定と解除が切り替わります。

設定時：点灯（初期設定）

解除時：消灯



3. 設定ボタンを押す。

設定が完了し、各種設定ボタンが消灯します。



Note

操作しないまま10秒経過しても、設定が完了します。

各機能の設定

操作音設定

操作パネルの各ボタンを押したときに鳴る操作音の ON/OFF を設定できます。

設定方法

1. 設定ボタンを 2 秒ほど長押しする。

各種設定ボタンが点灯します。



2. 操作音ボタンを押す。

ボタンを押すごとに、設定と解除が切り替わります。

設定時：点灯（初期設定）

解除時：消灯



3. 設定ボタンを押す。

設定が完了し、各種設定ボタンが消灯します。



Note

操作しないまま 10 秒経過しても、設定が完了します。

除湿設定

エアマットレス内に定期的に空気を送り出す（5分毎に30秒間）ことで、内部に浸透した湿気や熱を排出します。

設定方法

1. 設定ボタンを2秒ほど長押しする。

各種設定ボタンが点灯します。



2. 除湿ボタンを押す。

ボタンを押すごとに、設定と解除が切り替わります。

設定時：点灯（初期設定）

解除時：消灯



3. 設定ボタンを押す。

設定が完了し、各種設定ボタンが消灯します。



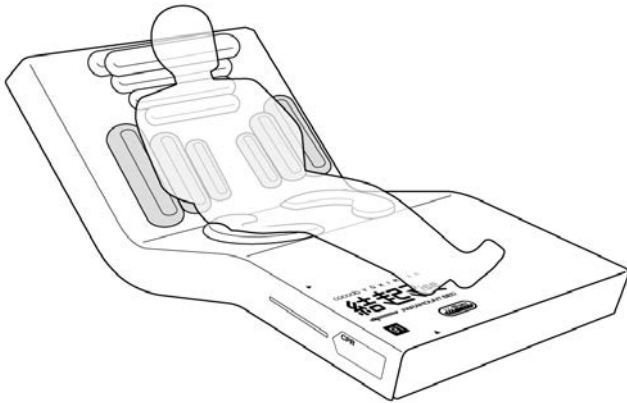
Note

操作しないまま10秒経過しても、設定が完了します。

自動背抜き設定

ベッドの背あげ直後に片側 30 秒ずつ、その後は片側 15 分ずつ、背抜きセル（左・右）が交互に膨張・縮小することによる背抜き動作を行います。

ベッドの背角度が 20°以上になると、自動背抜きが作動します。



設定方法

1. 設定ボタンを 2 秒ほど長押しする。

各種設定ボタンが点灯します。



2. 自動背抜きボタンを押す。

ボタンを押すごとに、設定と解除が切り替わります。

設定時：点灯（初期設定）

解除時：消灯



3. 設定ボタンを押す。

設定が完了し、各種設定ボタンが消灯します。



Note

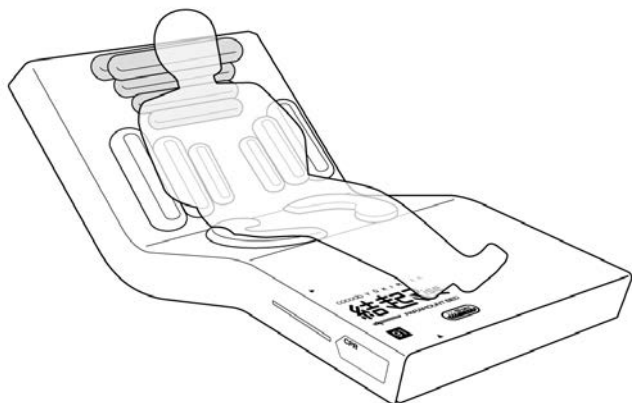
- 操作しないまま 10 秒経過しても、設定が完了します。
- 自動背抜き設定を ON にすると、背部サポート設定も ON になります。

📖 背部サポート設定(P.29)

ヘッドアップ設定

背あげ時にヘッドアップセルを膨張させ、使用する方の背中から頭部を 20°ほど持ちあげて、頭頸部の角度を調整します。

ベッドの背角度が 20°以上になると、ヘッドアップが作動します。



設定方法

1. 設定ボタンを 2 秒ほど長押しする。

各種設定ボタンが点灯します。



2. ヘッドアップボタンを押す。

ボタンを押すごとに、設定と解除が切り替わります。

設定時：点灯（初期設定）

解除時：消灯



3. 調節ボタンを押して、ヘッドアップセルのかたさを設定する。

ボタンを押すごとにかたさ設定が変わり、状態表示に hu1→hu2→hu3→Aut と順に表示されます。

※ 体重設定に応じた自動かたさ設定の場合は **Aut**（自動）を設定してください。



4. 設定ボタンを押す。

設定が完了し、各種設定ボタンが消灯します。



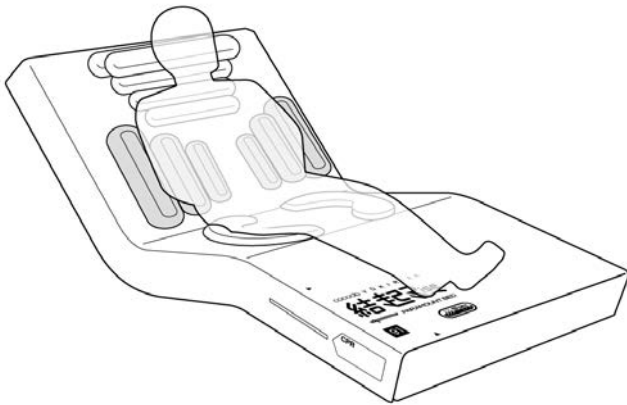
Note

- 操作しないまま 10 秒経過しても、設定が完了します。
- 背角度センサーが背角度 65°以上を検知すると、自動的にヘッドアップセルが収縮します。

背部サポート設定

背抜きセル（左・右）を同等に膨張させ、使用される方の横ずれを軽減します。

ベッドの背角度が 20°以上になると、背部サポートが作動します。



設定方法

1. 設定ボタンを 2 秒ほど長押しする。

各種設定ボタンが点灯します。



2. 背部サポートボタンを押す。

ボタンを押すごとに、設定と解除が切り替わります。

設定時：点灯（初期設定）

解除時：消灯



3. 設定ボタンを押す。

設定が完了し、各種設定ボタンが消灯します。



Note

- 操作しないまま 10 秒経過しても、設定が完了します。
- 背部サポート設定を OFF にすると、自動背抜き設定も OFF になります。

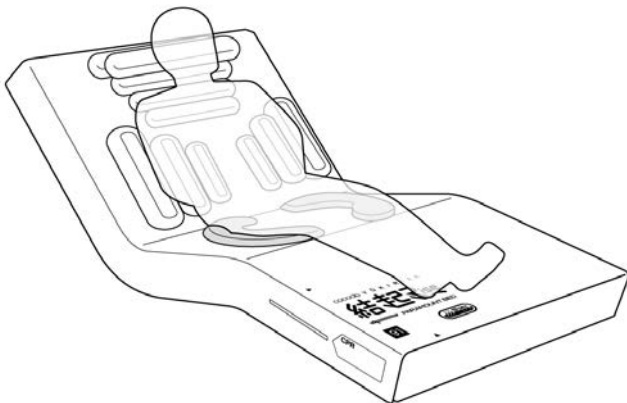
でん部サポート設定

でん部サポートセル（左・右）を膨張させ、使用する方でん部を包み込み、前・横のずれを軽減しながら、体圧を分散します。

ベッドの背角度が 20°以上になると、でん部サポートが作動します。

注意

ベッドサイドテーブルをベッドに設置しているときはベッドの操作をしないでください。ベッド操作によりでん部サポートセルが膨らむときなどに身体が持ちあがり、でん部サポートセルとベッドサイドテーブルとのすき間に身体がはさまれるおそれがあります。



設定方法

1. 設定ボタンを 2 秒ほど長押しする。

各種設定ボタンが点灯します。



2. でん部サポートボタンを押す。

ボタンを押すごとに、設定と解除が切り替わります。

設定時：点灯（初期設定）

解除時：消灯



3. 設定ボタンを押す。

設定が完了し、各種設定ボタンが消灯します。



Note

操作しないまま 10 秒経過しても、設定が完了します。

設定リセット

設定リセット

1. 設定ボタンを2秒ほど長押しする。

各種設定ボタンが点灯します。



2. しっかりボタンを音が鳴るまで長押しする。

「ピー」と音が鳴り、設定が初期設定になります。



CPR 機能

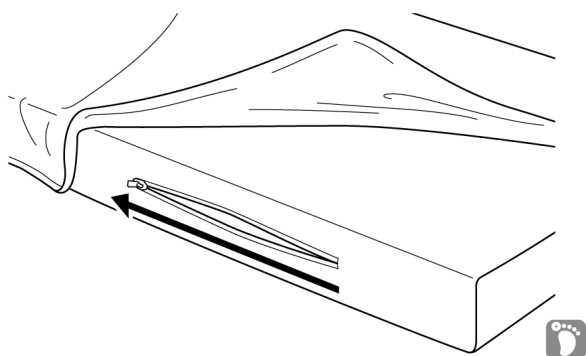
緊急時などに CPR 機能を使用することで、エアマットレスの空気がすばやく排出され、30 秒以内で心臓マッサージが行えるようになります。

※ 空気が排出される時間は、使用する方の体格やモードの設定状態によって異なります。

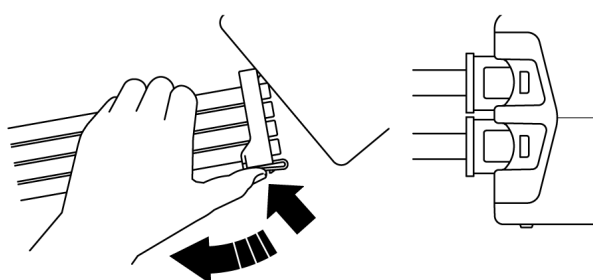
警告

心臓マッサージなどの緊急対応が必要なときは、CPR 機能を使用してください。迅速な処置ができなくなり、症状が悪化するおそれがあります。

1. ポンプ本体付近のシーツを外す。
2. CPR ファスナーを開ける。



3. CPR レバーを押しながら、カプリング(上・下)を手前に引き抜く。



注意

- カプリングを取り外すときは、CPR レバーを押しながら引き抜いてください。無理に引っ張るとカプリングが破損する原因となります。
- カプリングを外すときは、周りのものに注意してください。勢いよく外すと手などがものに当たり、けがをするおそれがあります。

Note

CPR 機能を使用した後、再度ポンプ本体とエアマットレス本体を接続してください。

📖 ポンプ本体の清拭(P.43)

停電対策機能

停電時は空気の排出を自動的に停止します。使用状況により異なりますが、2週間空気を保持することができます。

ただし、停電中は圧切替などの除圧効果や機能は働きませんので、使用する方の状態に注意してください。

お手入れ

お手入れの際の注意

警告

- お手入れは、電源プラグおよびベッドリンクケーブルを抜いて行ってください。本製品が誤動作し、けがをするおそれがあります。
- お手入れ後は、グライドシート・エアセル・ボトムカバー・ポンプカバーを接続するループやベルトが確実に取り付けられているを確認してください。エアセルが片寄り効果的に体圧分散できなくなるおそれがあります。

注意

- ポンプ本体・操作パネル・ACアダプター・電源コード・背角度センサーを入れたまま側地を洗浄しないでください。破損するおそれがあります。
- お手入れのためにポンプ本体をエアマットレス本体から外した場合は、カプリング（上・下）およびポンプ本体の差込口（上段・下段）に水などが浸入しないように注意してください。ポンプ本体やエアセルに水分が浸入すると、故障やカビ発生の原因となります。
- お手入れ後は、ファスナーが確実に閉まっていることを確認してください。開いているファスナーから水分などが浸入して、詰め物（エアセル・送風チューブなど）が劣化したり、カビが発生したりする原因となります。
- マットレス洗浄機やオートクレーブ滅菌器・オゾン殺菌器などでは洗浄しないでください。本製品や洗浄・殺菌設備などが変質・破損・劣化するおそれがあります。

- ファスナーを開けて清拭をしないでください。詰め物（エアセル・送風チューブなど）が劣化したり、カビが発生したりする原因となります。
- 血液・尿・皮脂などの汚れは放置せず、こまめに中性洗剤や石鹸を用いて落としてください。放置すると側地が劣化したり、においやしみが残ったりするおそれがあります。
 - 使用中についた側地においては、市販の口内洗浄剤を使用すると軽減する場合があります。
 - しみがある場合は、オキシドール（過酸化水素水：濃度 3%）でしっかり拭き取ってください。
- 揮発性のもの（シンナー・ベンジン・ガソリンなど）やクレゾールは使用しないでください。変色・変質するおそれがあります。
- 消毒剤を使用する場合は、指定以外の薬品を使用しないでください。側地の防水性能などの劣化や変色が生じるおそれがあります。

お手入れ

カバー類の清拭

カバー類は以下の方法で清拭してください。

- **ドライタイプ：**
トップカバー・ボトムカバー・ポンプカバーが清拭可能です。
- **通気タイプ：**
ポンプカバーが清拭可能です。

お手入れ方法

1. 石鹼水（市販の石鹼、中性洗剤などを水で薄めたもの）で拭き、汚れを落とす。
2. 消毒剤で清拭消毒する。
3. ベッドの上などで自然乾燥させる。（天日干しはしないでください。）

消毒剤について

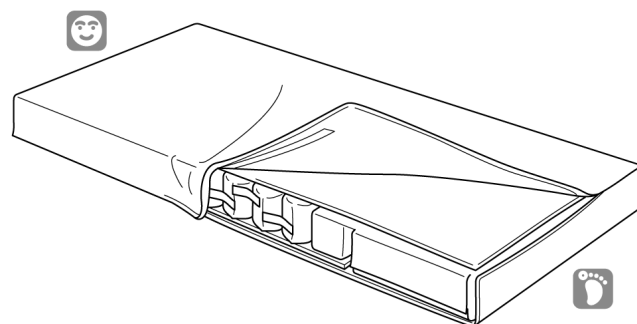
消毒剤は、必ず下記の薬品を指定の濃度を守って使用してください。また、各消毒剤の取扱方法に従って使用してください。

濃度	消毒剤
76.9 ~ 81.4%	消毒用エタノール
70%	イソプロパノール
0.02~1.0%	次亜塩素酸ナトリウム（ピューラックスなど）
0.05~0.2%	塩化ベンザルコニウム（オスバンなど）
0.05~0.2%	塩化ベンゼトニウム（ハイアミンなど）
0.05%	グルコン酸クロルヘキシジン（ヒビテンなど）

トップカバー（ドライタイプ）の洗浄

取外方法

ファスナーを開けて、トップカバーをボトムカバーから取り外す。



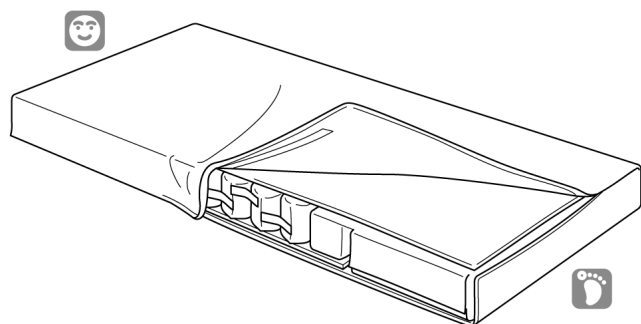
洗浄方法

1. 石鹼水（市販の石鹼、中性洗剤などを水で薄めたもの）でつけ洗いをします。
2. 洗剤がなくなるまですすぎ、ねじらず軽く絞る。
3. 陰干しして完全に乾燥させる。

トップカバー（通気タイプ）の洗浄

取外方法

ファスナーを開けて、トップカバーをボトムカバーから取り外す。



洗浄方法

品質表示ラベルの絵表示に従って、洗浄する。

記号	説明
	<ul style="list-style-type: none"> 洗濯機で弱い洗濯処理ができます。 洗濯の液温は 40°C が限度です。
	塩素系及び酸素系漂白剤による漂白処理ができます。
	<ul style="list-style-type: none"> 洗濯処理後のタンブル乾燥処理ができます。 排気温度は 60°C が限界です。（低温乾燥）
	日陰でのつり干し乾燥がよいです。
	<ul style="list-style-type: none"> 底面温度 120°C を限度としてアイロン仕上げができます。 あて布を使用してください。
	ドライクリーニング処理はできません。
	<ul style="list-style-type: none"> 普通操作のウェットクリーニング処理ができます。

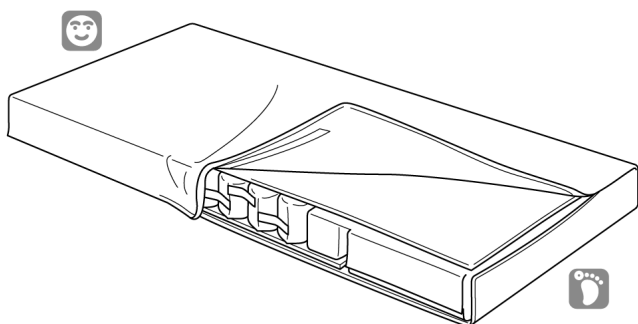
Note

カバーにアイロンをかける場合は、グライドシートやポンプカバー、エアセルを取り外してください。

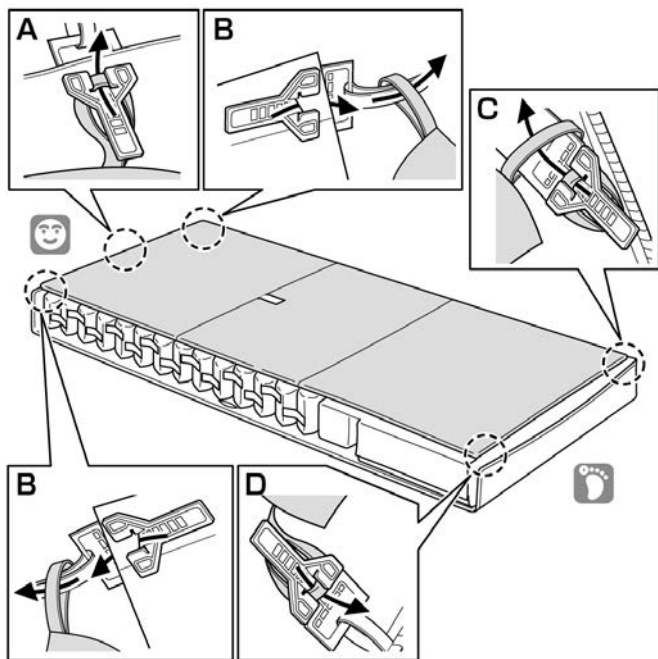
グライドシート・ウレタンフォームの洗浄

取外方法

1. ファスナーを開けて、トップカバーをボトムカバーから取り外す。



2. グライドシートとボトムカバーを接続しているループとベルトを取り外す。(5ヶ所)



3. グライドシートとウレタンフォームを一緒に取り外す。

Note

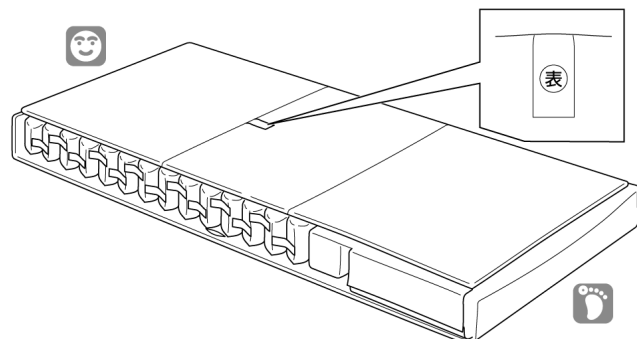
グライドシートとウレタンフォームは分離しないでください。分離した場合は、グライドシートの内側と外側が裏返っていないことを確認してウレタンフォームを入れてください。(表示タグがグライドシートの外側につくようにしてください)

洗浄方法

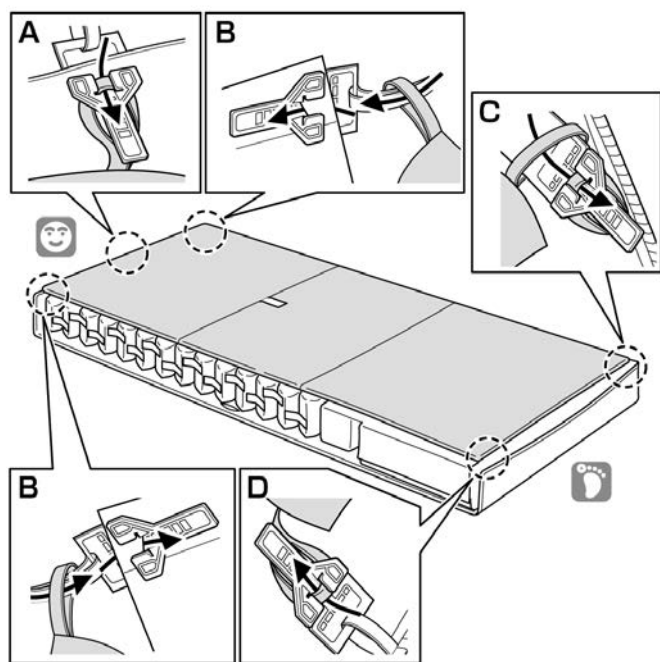
1. グライドシートとウレタンフォームを分離せず、石鹼水(市販の石鹼、中性洗剤などを水で薄めたもの)で一緒につけ洗する。
2. 洗剤がなくなるまで水ですすぎ、ねじらず軽く絞る。
3. 陰干しして完全に乾燥させる。

取付方法

1. グライドシートを表示タグが上側になるようにエアセルの上に敷く。



2. ボトムカバーにグライドシートを取り付ける。



[取付部 A]

ボトムカバーのベルトにグライドシートのループを引っ掛ける。

[取付部 B]

- ① グライドシートのループにボトムカバーのベルトを通す。
- ② ボトムカバーのベルトをヘッドアップセルの穴に引っ掛ける。

[取付部 C]

- ① グライドシートのループにエアセルのベルトを通す。
- ② エアセルのベルトにボトムカバーのループを引っ掛ける。

[取付部 D]

ボトムカバーのベルトにグライドシートのループを引っ掛ける。

3. トップカバーとボトムカバーを留めているファスナーを閉じる。

Note

- ループはベルト首部まで確実に通して引っ掛けてください。
- グライドシートを取り付けるときは、中のウレタンシートの片寄りやよれがないようにしてください。
- ファスナーを閉じる時は、ループがファスナーに巻き込まれないように注意してください。

ボトムカバー（通気タイプ）の洗浄

取外方法

1. トップカバー・グライドシート・ポンプ本体・ACアダプターを取り外す。

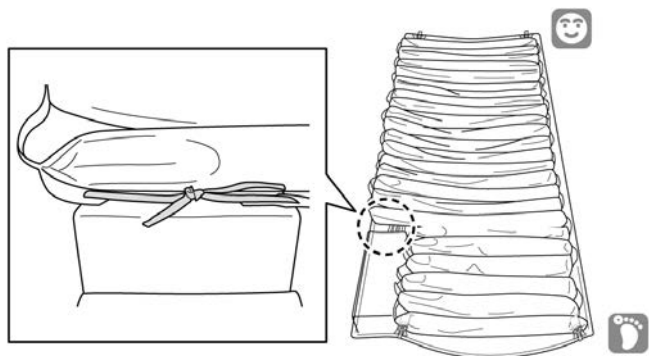
🔧 トップカバー（通気タイプ）の洗浄(P.36)

🔧 グライドシート・ウレタンフォームの洗浄(P.37)

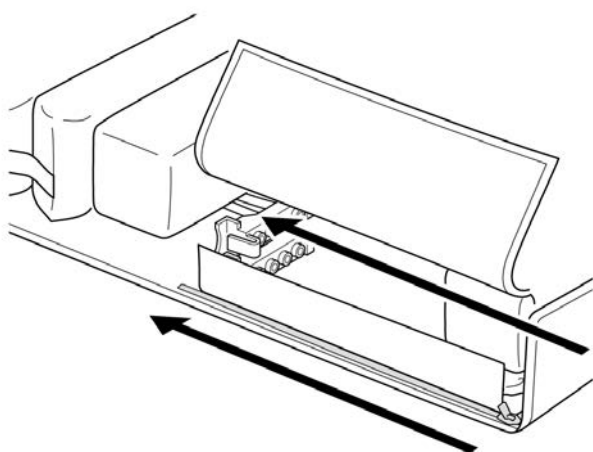
🔧 ポンプ本体の清拭(P.43)

🔧 ACアダプターの取り付け・取り外し(P.48)

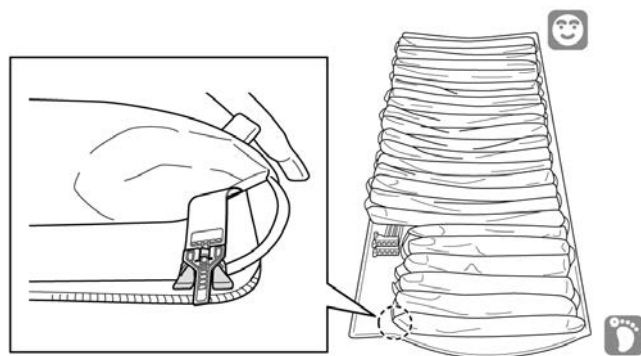
2. ポンプカバーとエアセルとつないでいる紐をほどく。



3. ポンプカバー取付け用ファスナーを開いて（2ヶ所）、ポンプカバーをボトムカバーから取り外す。

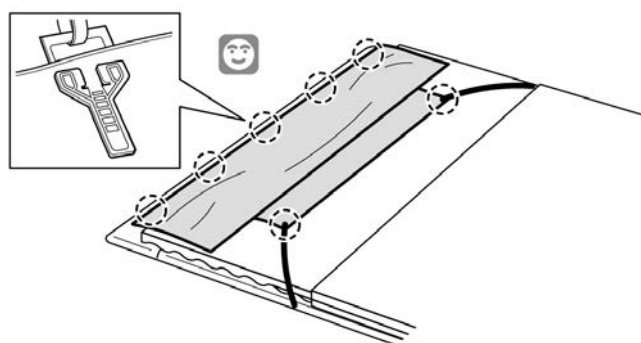


4. ボトムカバーのループをエアセルのベルトから取り外し、エアセルをボトムカバーから取り外す。

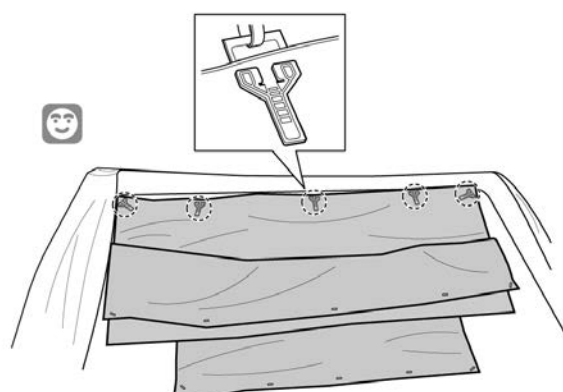


5. ボトムカバー上側とヘッドアップセルを接続しているベルトを取り外す。（5ヶ所）

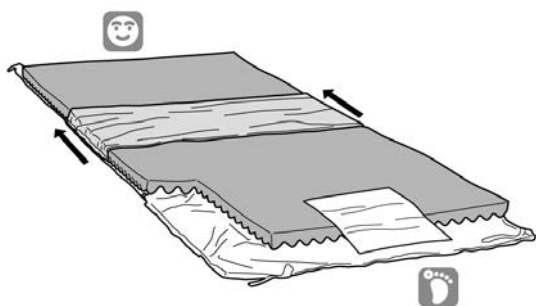
6. ヘッドアップセル固定紐とヘッドアップセルを接続しているベルトを取り外す。（2ヶ所）



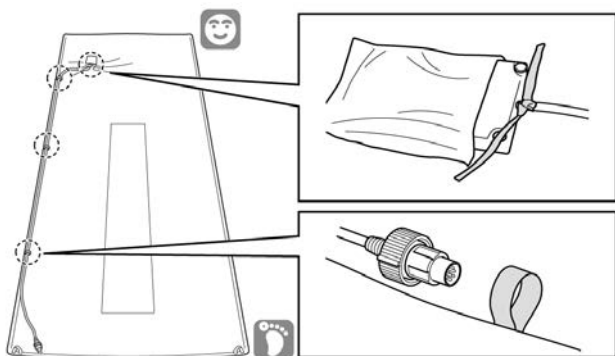
7. ボトムカバー下側とヘッドアップセルを接続しているベルトを取り外し（5ヶ所）、ヘッドアップセルをボトムカバーから取り外す。



8. 左右のファスナーを開き、ウレタンカバーをボトムカバーから取り外し、ボトムウレタンを取り外す。



9. ボトムカバーと背角度センサーをつないでいる紐をほどき、背角度センサーをボトムカバーから取り外す。



洗浄方法

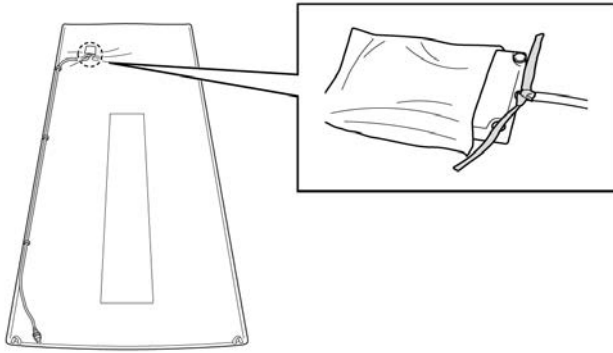
品質表示ラベルの絵表示に従って、洗浄する。

記号	説明
	<ul style="list-style-type: none"> ● 洗濯機で弱い洗濯処理ができます。 ● 洗濯の液温は40°Cが限度です。
	塩素系及び酸素系漂白剤による漂白処理ができます。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 洗濯処理後のタンブル乾燥処理ができます。 ● 排気温度は60°Cが限界です。(低温乾燥)
	日陰でのつり干し乾燥がよいです。
あて布使用	<ul style="list-style-type: none"> ● 底面温度 120°Cを限度としてアイロン仕上げができます。 ● あて布を使用してください。
	ドライクリーニング処理はできません。
	● 普通操作のウェットクリーニング処理ができます。

お手入れ

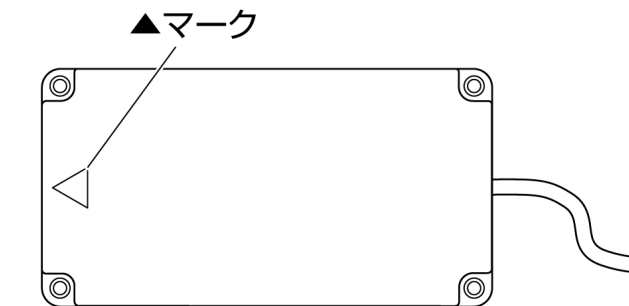
取付方法

1. ボトムカバーのセンサー用ポケットに背角度センサーを収納する。
2. 背角度センサーのケーブルをボトムカバーの紐で固定する。(固結び)

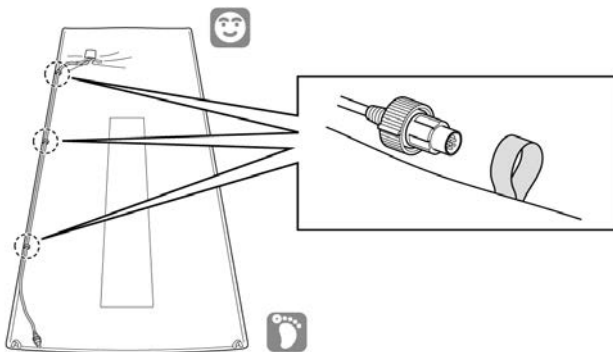


Note

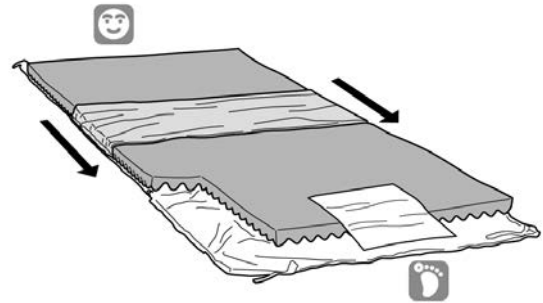
背角度センサーは▲マークが必ず上側になるように収納してください。逆に収納するとエラーを起こす原因となります。



3. 背角度センサー取付け用ループ (3ヶ所) にケーブルを通す。



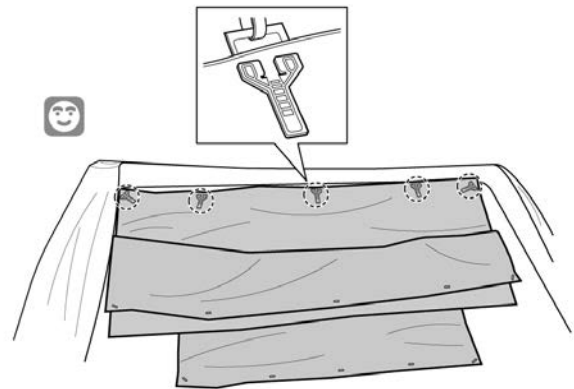
4. ボトムウレタンをボトムカバーに載せる。
5. ウレタンカバーをボトムウレタンに載せ、左右のファスナーで固定する。



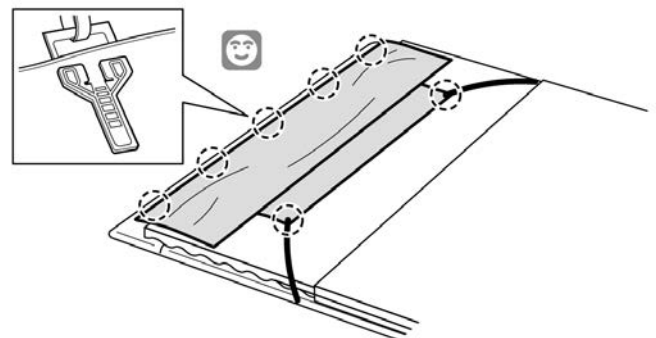
Note

ボトムカバー足側にある収納ポケットをボトムウレタンの上に置いてください。

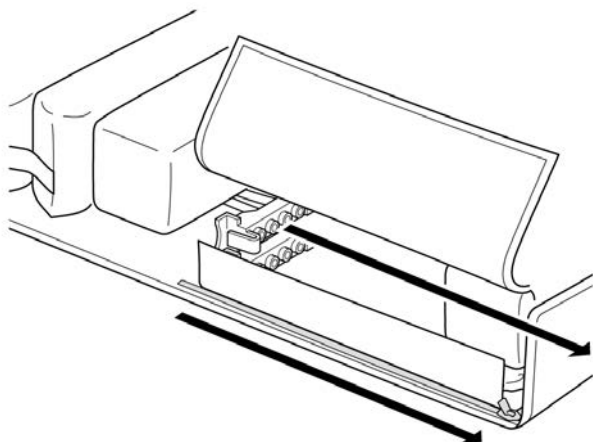
6. ヘッドアップセルをボトムウレタンに載せ、ボトムカバー下側のベルトで固定する。(5ヶ所)



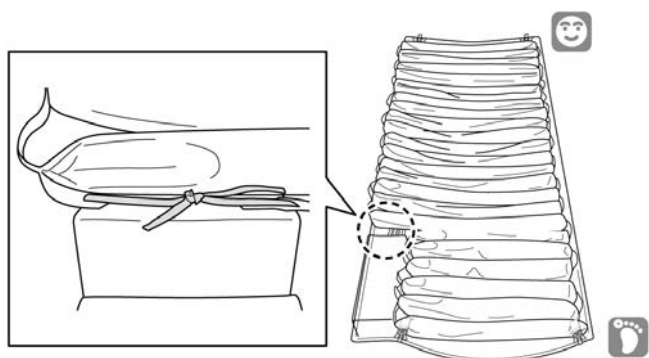
7. ヘッドアップセルをボトムカバー上側 (5ヶ所) とヘッドアップセル固定紐 (2ヶ所) のベルトで固定する。



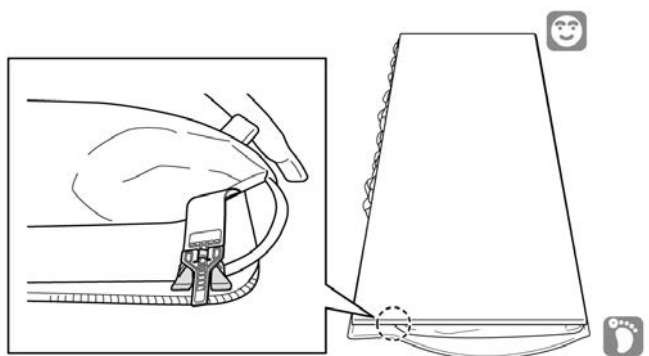
8. エアセルをボトムウレタンに載せる。
9. ボトムカバーのポンプカバー取付用ファスナー（2ヶ所）にポンプカバーを取り付ける。



10. ポンプカバーの紐を隣接するエアセルのベルトの穴を通して固定する。（固結び）



11. グライドシートを取り付ける。
- ☞ グライドシート・ウレタンフォームの洗浄(P.37)
12. ボトムカバーをエアセルのベルトに引っ掛けて、エアセルを固定する。



13. トップカバー・ポンプ本体・AC アダプターを取り付ける。

- ☞ トップカバー（通気タイプ）の洗浄(P.36)
- ☞ ポンプ本体の清拭(P.43)
- ☞ AC アダプターの取り付け・取り外し(P.48)

⚠ 注意

- ボトムカバーにエアセルを固定するときは、ループおよびベルトがボトムカバーの外にはみ出さないように注意してください。トップカバーとボトムカバーを留めるファスナーを閉じる際にループやベルトがはさまりファスナーが破損するおそれがあります。
- お手入れ後は送風チューブのコネクターが外れていないことを確認してください。空気の供給ができなくなるおそれがあります。

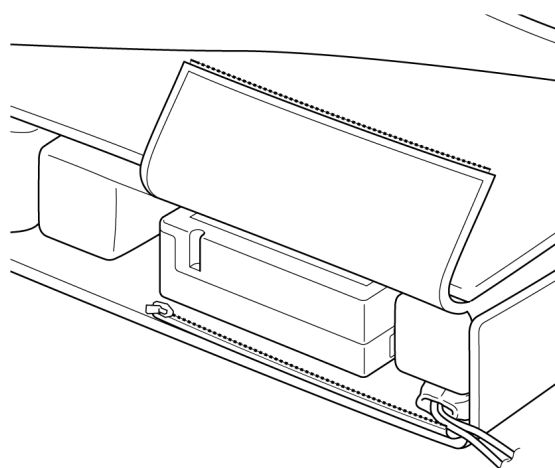
ポンプ本体の清拭

警告

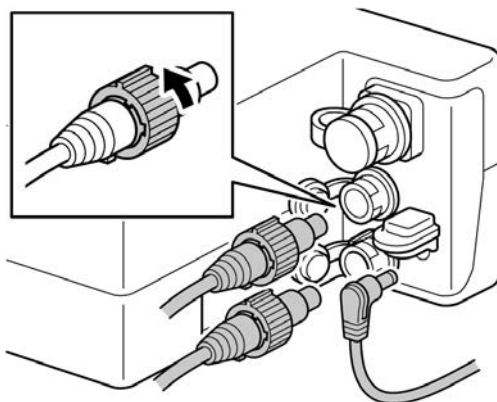
- ポンプ本体を取り扱う際は、電源コードや操作パネルのコードを持たずにポンプ本体を両手でしっかり持ってください。断線により感電・火災のおそれがあります。
- 操作パネルやポンプ本体などの取り扱いに注意してください。エアマットレスが誤動作してけがをしたり、故障の原因となったりします。また、ショートなどにより、感電・火災のおそれがあります。
 - 踏みつけたり、押しつけたり、無理な力をかけたりしないでください。
 - ぶつけたり傷つけたりしないでください。
 - 落としたり、コードを無理に引っ張ったりしないでください。
 - 水をかけたり濡れた手で触ったりしないでください。
- 操作パネルと背角度センサーの取り付け・取り外しは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。電源プラグがコンセントに差し込まれたままの状態で行うと、操作パネル・背角度センサー・ポンプ本体が破損するおそれがあります。

取外方法

1. トップカバーとポンプカバーを開く。



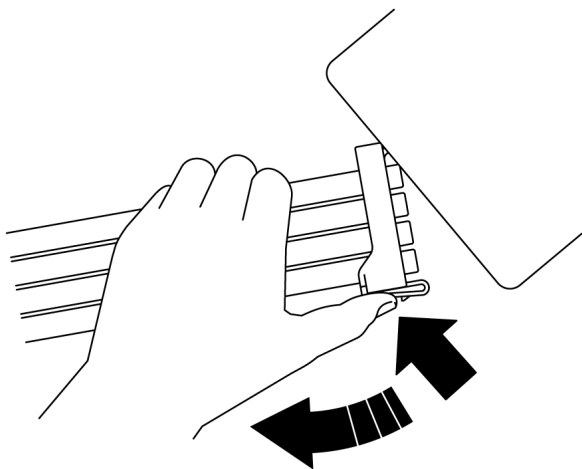
2. ポンプ本体に接続しているコネクタ類を取り外す。
コネクタキャップを反時計回りに回して取り外してください。



Note

ベッドリンクケーブルを接続している場合は、ベッドリンクケーブルのコネクタも取り外してください。

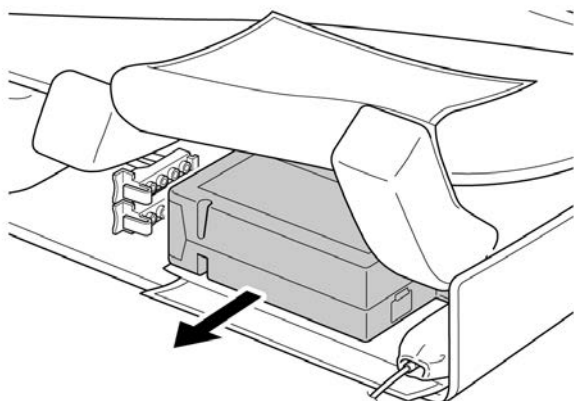
3. CPR レバーを押しながら、2 本のカプリングを引き抜く。



注意

- ポンプ本体からカプリングを外すときは、CPR レバーを押しながらカプリングを引き抜いてください。無理に引っ張ると、カプリングが破損する原因となります。
- カプリングを外すときは、周りのものに注意してください。勢いよく外すと手などがものに当たり、けがをするおそれがあります。

4. エアマットレス本体からポンプ本体を取り外す。



お手入れ方法

ポンプ本体は以下の方法で清拭してください。

1. 石鹼水（市販の石鹼、中性洗剤などを水で薄めたもの）でポンプ本体を拭き、汚れを落とす。
2. 消毒剤でポンプ本体を清拭消毒する。

消毒剤は、必ず下記の薬品を指定の濃度を守って使用してください。また、各消毒剤の取扱方法に従って使用してください。

濃度	消毒剤
76.9 ~ 81.4%	消毒用エタノール
70%	イソプロパノール
0.02~1.0%	次亜塩素酸ナトリウム（ピューラックスなど）
0.05~0.2%	塩化ベンザルコニウム（オスバンなど）
0.05~0.2%	塩化ベンゼトニウム（ハイアミンなど）
0.05%	グルコン酸クロルヘキシジン（ヒビテンなど）

お手入れ

取付方法

警告

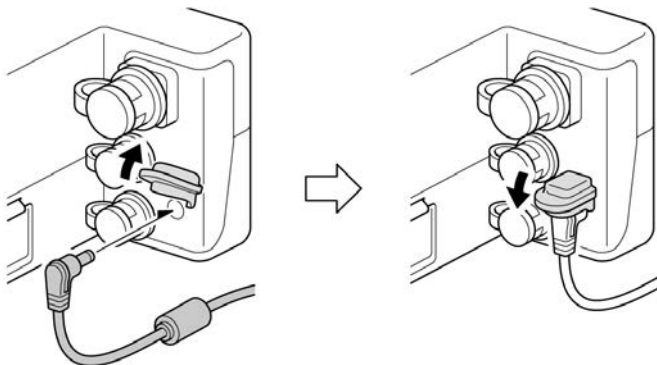
- ポンプ本体とカプリングが正しく接続されていることを確認してください。効果的に体圧分散ができなくなるおそれがあります。
- ポンプカバーのファスナーを確実に閉じて、ポンプ本体設置位置内に固定してください。固定が不十分だとポンプ本体が落下してけがをしたり、破損・変形したりするおそれがあります。また、破損によりショートして感電・火災のおそれがあります。

1. ロゴマークを上側にしてポンプ本体を設置する。



Note

- 天地・頭側・足側の向きに注意してください。
 - ポンプ本体設置位置内に正しく設置してください。振動音が生じる可能性があります。
2. ACアダプターのコネクタをポンプ本体に接続する。ケーブルを下にして差し込み、カバーをさげてください。

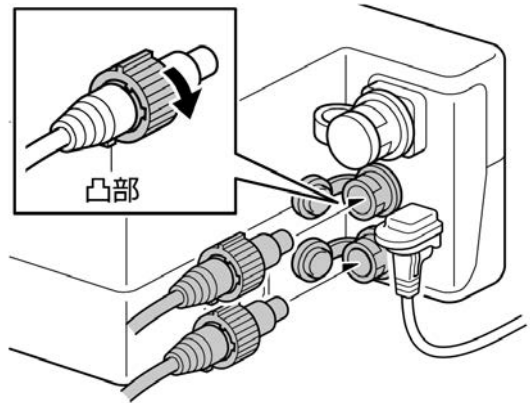


3. 背角度センサーと操作パネルのコネクタをポンプ本体に接続する。

コネクタの凸部を下にして差し込み、コネクタキャップを時計回りに回して固定してください。

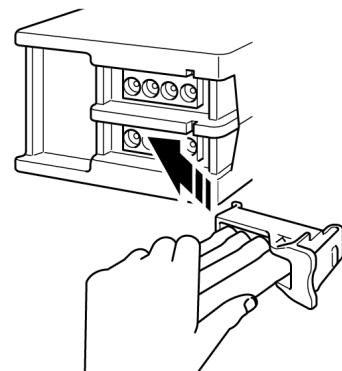
中央：背角度センサー差入口

下側：操作パネル差入口



Note

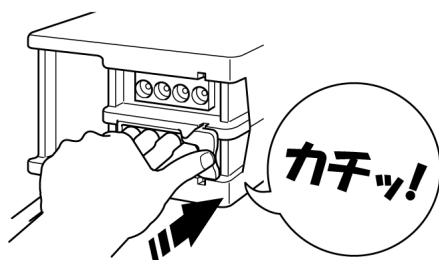
- コネクタキャップは必ず凸部が水平になるように回してください。コネクタが外れるおそれがあります。
 - AC アダプターコネクタを接続する際はケーブルを下にして差し込み、カバーを AC アダプターコネクタに覆いかぶせるようにしっかりとさげてください。AC アダプターコネクタが抜けやすくなります。
4. 下段用のカプリング（黒色）の奥側にある突起部をポンプ本体の下段差入口の溝に斜めに差し込む。



Note

カプリングには、上段用の「カプリング（白色）」と下段用の「カプリング（黒色）」があります。接続する際は、下段から上段の順に差し込んでください。

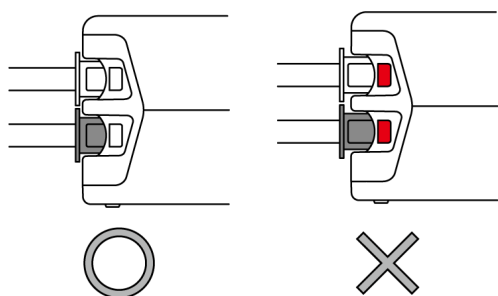
5. 手前側にある CPR レバーを「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込む。



6. 同様にポンプ本体の上段差込口に上段用のカプリング（白色）を接続する。

Note

カプリングを取り付けた後、ポンプ本体側面 2 ヶ所の穴からカプリングに貼ってある赤いラベルが見えないことを確認してください。



7. ポンプカバーのファスナーを閉じる。
8. トップカバーとボトムカバーのファスナーを閉じる。

警告

ベッドリンクケーブル（別売）を使用する際は、ベッドとの接続方法を確認し、正しく配線してください。ベッドの可動部などにケーブルがはさまって破損し、ショートして感電・火災のおそれがあります。

Note

ベッドの頭側にコンセントがある場合の電源コードの配線方法は、ベッドの種類によって異なります。配線方法については、下記の二次元バーコードを読み取っていただくか、下記 Web サイトをご覧ください。

https://www.paramount.co.jp/cms/pdf/user%27s_manual/200917rirakuflow_setuzoku_Ver00.pdf



エアセルの清拭

お手入れ方法

1. カプリング(上・下)をポンプ本体から取り外し、エアセルの空気を抜く。
2. トップカバーを取り外す。
3. トップカバー・ボトムカバーの清拭方法と同様に、エアセルを清拭する。
4. 自然乾燥させ、必ずカプリング(上・下)とポンプ本体を確実に取り付ける。
5. トップカバー・ボトムカバーのファスナーをしっかり閉める。

注意

お手入れ後は送風チューブのコネクターが外れていないことを確認してください。空気の供給ができなくなるおそれがあります。

Note

- エアセルをお手入れする際は、エアセル1本1本をエアマットレスから分離しないでください。
- 長期間使用すると、エアセルのウレタンフィルムが変色することがありますが、機能的には問題ありません。

消毒剤について

消毒剤は、必ず下記の薬品を指定の濃度を守って使用してください。また、各消毒剤の取扱方法に従って使用してください。

濃度	消毒剤
76.9 ~ 81.4%	消毒用エタノール
70%	イソプロパノール
0.02~1.0%	次亜塩素酸ナトリウム（ピューラックスなど）
0.05~0.2%	塩化ベンザルコニウム（オスバンなど）
0.05~0.2%	塩化ベンゼトニウム（ハイアミンなど）
0.05%	グルコン酸クロルヘキシジン（ヒビテンなど）

操作パネルの清拭

お手入れ方法

操作パネルは以下の方法で清拭してください。

1. 石鹼水（市販の石鹼、中性洗剤などを水で薄めたもの）で操作パネルを拭き、汚れを落とす。
2. 消毒剤で操作パネルを清拭消毒する。

消毒剤について

消毒剤は、必ず下記の薬品を指定の濃度を守って使用してください。また、各消毒剤の取扱方法に従って使用してください。

濃度	消毒剤
76.9 ~ 81.4%	消毒用エタノール
70%	イソプロパノール
0.02~1.0%	次亜塩素酸ナトリウム（ピューラックスなど）
0.05~0.2%	塩化ベンザルコニウム（オスバンなど）
0.05~0.2%	塩化ベンゼトニウム（ハイアミンなど）
0.05%	グルコン酸クロルヘキシジン（ヒビテンなど）

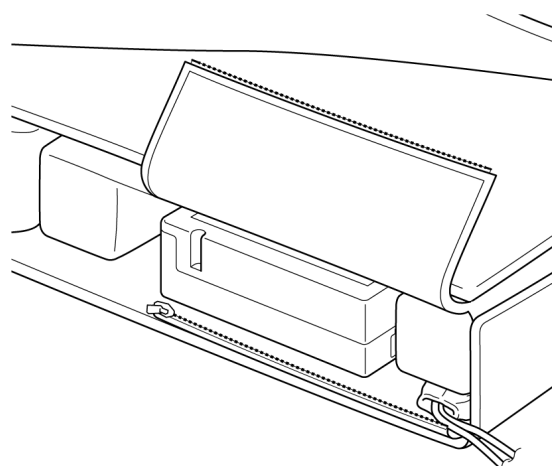
AC アダプターの取り付け・取り外し



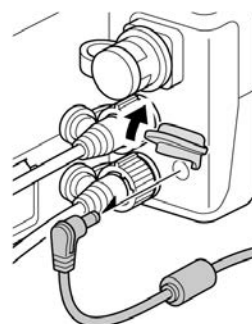
AC アダプターの取り付け・取り外しは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。電源プラグがコンセントに差し込まれた状態で AC アダプターの取り付け・取り外しを行うと、AC アダプター・ポンプ本体が破損するおそれがあります。

取外方法

1. トップカバーとポンプカバーを開く。



2. カバーを押しあげ、AC アダプターコネクターをポンプ本体から取り外す。

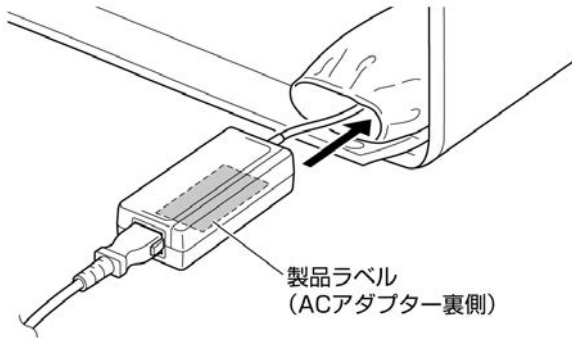


3. AC アダプターを AC アダプター収納部から取り出す。

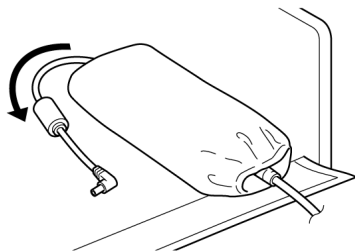
お手入れ

取付方法

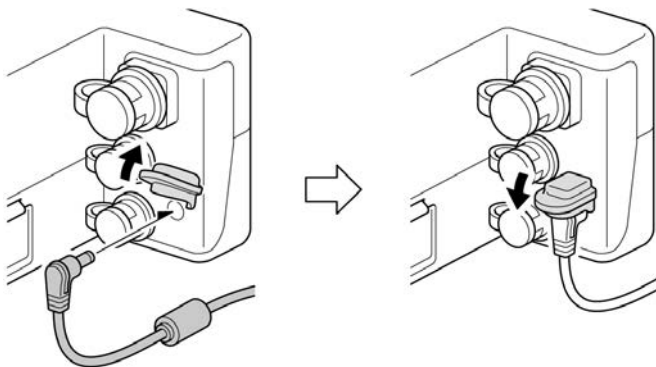
1. 製品ラベルを下側にして、AC アダプターを AC アダプター収納部に電源コードコネクタ差込口が隠れるまで中に入れる。



2. AC アダプター収納部の反対側の口から AC アダプターコネクタを取り出す。



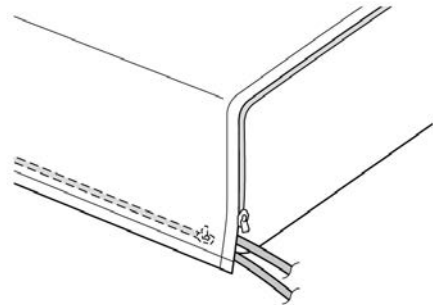
3. カバーを押しあげ、AC アダプターコネクタをポンプ本体に接続する。



Note

AC アダプターコネクタを接続する際はケーブルを下にして差し込み、カバーを AC アダプターコネクタに覆いかぶせるようにしっかりとさげてください。AC アダプターコネクタが抜けやすくなるおそれがあります。

4. ポンプカバーのファスナーを閉じる。
5. トップカバーとボトムカバーのファスナーを閉じ、ファスナーの間のカバーの隅から操作パネルのコードおよび電源コードを外に出す。

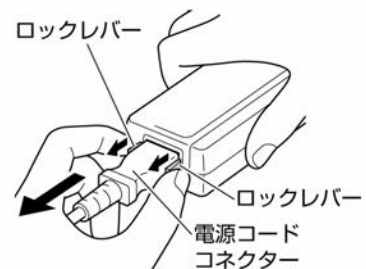


注意

電源プラグは、すべての配線が終了してからコンセントに差し込んでください。電源プラグがコンセントに差し込まれたまま操作パネルや背角度センサーの取り付け・取り外しを行うと、操作パネルや背角度センサー、ポンプ本体が破損するおそれがあります。

警告

電源コードコネクタには抜け防止のロック機構が備わっています。電源コードを AC アダプターの電源コードコネクタ差込口から抜く際は、電源コードコネクタ左右のロックレバーを引きながら抜いてください。ロックレバーを引かずに抜こうとすると、電源コードコネクタや電源コードが破損・断線して、感電・火災のおそれがあります。



点検

フィルターの点検

フィルターは定期的に点検・交換をしてください。
 ここちあ用フィルターについては、販売店またはここちあセンターまでお問い合わせください。

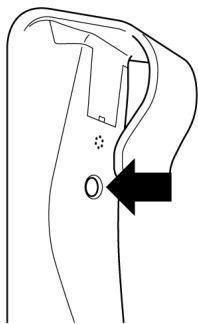
📞 お問い合わせ先(P.82)

注意

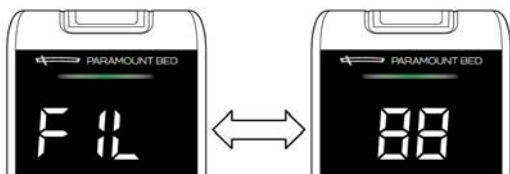
指定以外のフィルターを取り付けないでください。
 指定の「ここちあ用フィルター」を確実に取り付け
 てください。指定以外のフィルターを取り付けたり、
 付け忘れたりすると、ポンプ内部に虫やほこりが
 入り込み、正常に作動しないおそれがあります。
 また、故障の原因となります。

フィルター確認モードにすると、フィルターの使用時間
 の確認およびフィルター使用時間のリセットがで
 きます。

1. 操作パネル裏面のメンテナンスボタンを長押し
 する。



状態表示画面に「FIL」の表示とフィルター使用時間の
 表示が交互に表示されます。



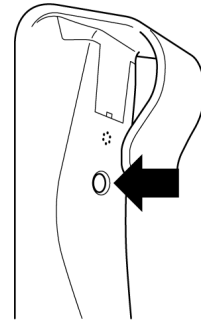
※ フィルター使用時間は 100 の桁より上の数字が
 表示されます。

例) 160 時間→表示“1” 80 時間→表示“0”

※ 使用場所や環境・使用時間により異なりますが、
 連続使用の場合、フィルターは表示“88”が交換の
 目安です。

2. 確認後、メンテナンスボタンを押す。

フィルター確認モードが終了します。



Note

操作しないまま 1 分経過しても、フィルター確認
 モードが終了します。

フィルターの交換

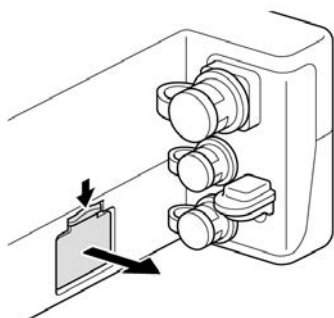
フィルターは定期的に点検・交換をしてください。
ここちあ用フィルターについては、販売店またはここちあセンターまでお問い合わせください。

📞 お問い合わせ先(P.82)

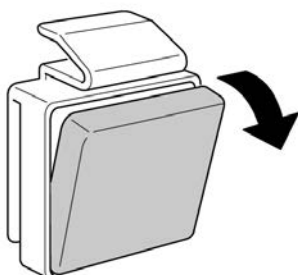
⚠️ 注意

指定以外のフィルターを取り付けしないでください。
指定の「ここちあ用フィルター」を確実に取り付けてください。指定以外のフィルターを取り付けたり、付け忘れたりすると、ポンプ内部に虫やほこりが入り込み、正常に作動しないおそれがあります。また、故障の原因となります。

1. ポンプ本体側面にあるフィルターケースのツメを押し、ケースを取り出す。

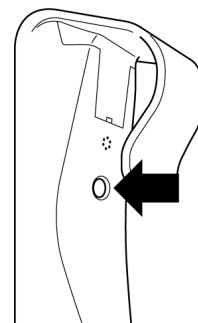


2. フィルターを交換する。



3. 操作パネル裏面のメンテナンスボタンを長押しする。

フィルター確認モードが起動します。



4. フィルター確認モード中にしっかりモードボタンを3秒押す。

「ピー」と音が鳴ってフィルター使用時間の表示が「0」になり、フィルター使用時間がリセットされます。






Note

フィルターの交換が終わったら、フィルター使用時間をリセットしてください。

日常点検

使用する際は、以下の点に注意して日常点検を行ってください。



点検箇所	点検項目	確認方法
エアマットレス本体	<p>極端に沈み込んでいないか？</p> <p>※ 圧切替モードのときは、一部のエアセルが凹んでいます。</p> <p>※ エアマットレス本体が極端に沈み込んでいる場合、エアセルが破損しているおそれがあります。内部のエアセルを確認し、処置を行ってください。</p>	触感
操作パネル	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源ランプは緑色に点灯しているか？ ● エラーコードが出ていないか？ <p>※ 電源ランプが緑色に点灯していない場合やエラーコードが表示されている場合、処置を行ってください。</p> <p> エラーコードが表示されたら(P.54)</p>	目視
カプリング (上・下)	<p>ポンプ本体に確実に固定されているか？</p> <p>※ 確実に固定されていない場合は、再度接続してください。</p> <p> ポンプ本体の清拭(P.43)</p>	目視
ケーブル接続部 (ポンプ本体)	<ul style="list-style-type: none"> ● ケーブルや AC アダプターコネクタは確実に接続されているか？ <p>※ 確実に接続されていない場合は、再度接続してください。</p> <p> ポンプ本体の清拭(P.43)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● キャップは確実に取付けられているか（操作パネル・背角度センサー・ベッドリンクケーブル接続時は除く） <p>※ 外れている場合、水分やほこりなどが入り込み、感電・故障の原因となります。確実に取付けてください。</p>	目視

定期点検

安全にご使用いただくために、1年に1回は点検してください。使用の頻度や環境により製品は摩耗・劣化します。定期的に以下の項目を点検してください。

異常が認められた場合や詳しい点検をご希望される場合は、ここちあセンターまでお問い合わせください。


 お問い合わせ先(P.82)

点検箇所	点検項目	確認方法
トップカバー／ ボトムカバー	破損していないか？	目視
エアマットレス本体 内部	<ul style="list-style-type: none"> ● 送風チューブとエアセルが接続されているか？ ● カプリング（上・下）と送風チューブが接続されているか？ ● ウレタンフォームは破損していないか？ 	目視
ポンプ本体	<ul style="list-style-type: none"> ● 破損していないか？ ● フィルターが汚れていないか？ ※ フィルターが汚れている場合は、フィルターを交換してください。  フィルターの交換(P.51)	目視
カプリング （上・下）	破損していないか？	目視
コード類	<ul style="list-style-type: none"> ● 傷や破損がないか？ ● ベッド配線用クランプがずれて、電源コードがたるんでいないか？ ※ 電源コードがたるんでいる場合は、正しく配線してください。	目視
操作パネル	<ul style="list-style-type: none"> ● コードがエアマットレスやベッドに絡まっていないか？ ● プラグやコードに傷などがいないか？ ● 操作パネル本体に傷や破損がないか？ ※ 傷んだ操作パネルなどの電装品は、修理（交換）を依頼してください。  アフターサービスについて(P.81)	目視
背角度センサー	<ul style="list-style-type: none"> ● 傷や破損がないか？ ● カバーから外れていないか？ 	目視

エラーコードが表示されたら

エラーコードが操作パネルに表示された場合、各エラーコードの処置を確認してください。

処置をしても正常に動作しない場合は本製品の使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはここちあセンターまで修理をご依頼ください。

 お問い合わせ先(P.82)

エラー発生時の操作パネルの表示内容

軽微エラーと重度エラーの2種類があります。

エラーコードが操作パネルに表示された場合、各エラーコードの処置を確認してください。

軽微エラー

軽微エラーが発生すると、電源ランプが橙色に点灯します。

状態表示にエラーコードが"U〇〇"と表示されます。



電源プラグをコンセントから抜き、再度コンセントに差し込んでください。

エラーが解消されると、エラーコードが消えます。

重度エラー

重度エラーが発生すると、警告音が鳴りポンプ本体の動作は停止します。

電源ランプが橙色に点滅し、状態表示にエラーコードが"H〇〇"と表示されます。



重度エラー発生中は、操作音ボタンが点滅します。操作音ボタンを押すことで警告音を止めることができます。



本製品の使用を中止し、販売店またはここちあセンターまでご連絡ください。

 お問い合わせ先(P.82)

エラーコードが表示されたら

エラーコード「H02」

エラー内容

エアセルの異常な高圧を検知しています。

原因と処置

原因 落下などによるポンプの故障が疑われます。

処置 本製品の使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはここちあセンターまで修理をご依頼ください。

 お問い合わせ先(P.82)

エラーコード「H03」

エラー内容

ポンプチェック時に圧力センサの異常を検知しています。

原因と処置

原因 落下などによるポンプの故障が疑われます。

処置 本製品の使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはここちあセンターまで修理をご依頼ください。

 お問い合わせ先(P.82)

エラーコード「H07」

エラー内容

ポンプ本体内部の通信部品の異常を検知しています。

原因と処置

原因 落下などによるポンプ本体の故障が疑われます。

処置 本製品の使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはここちあセンターまで修理をご依頼ください。

 お問い合わせ先(P.82)

エラーコード「H08」

エラー内容

ポンプ本体内部の制御基板の異常を検知しています。

原因と処置

原因 ポンプ本体内部の制御基板の故障が疑われます。

処置 本製品の使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはここちあセンターまで修理をご依頼ください。

 お問い合わせ先(P.82)

エラーコード「U00」

エラー内容

無効な操作を検知しています。

原因と処置

原因 操作パネル裏面のメンテナンスボタンが押されながら電源が投入されています。

処置 押されているボタンを離してください。または 20 秒経過でエラーが解消されます。エラーコードが表示されなくなった場合はそのままお使いいただけます。

エラーコードが表示されたら

エラーコード「U02」

エラー内容

操作パネルの通信異常を検知しています。


原因と処置

原因 シーツの引きはがしなどの静電気による一時的な電気ノイズの影響が疑われます。

処置 電源プラグをコンセントに差し直して、エラーコードが表示されなくなった場合はそのままお使いいただけます。

原因 操作パネルがポンプ本体にしっかり接続されていないことが疑われます。

処置 操作パネルのコネクターをポンプに差し込み、コネクターキャップの凸部が水平になるまで時計回りに回してください。エラーコードが表示されなくなった場合はそのままお使いいただけます。

 ポンプ本体の清拭(P.43)

原因 操作パネルが他製品（ここちあ利楽シリーズやここちあ利楽 flow シリーズなど）に接続されていることが疑われます。

処置 接続先が正しいことを確認してください。エラーコードが表示されなくなった場合はそのままお使いいただけます。

原因 ポンプ本体に他製品（ここちあ利楽シリーズやここちあ利楽 flow シリーズなど）の操作パネルが接続されていることが疑われます。

処置 操作パネルが正しいことを確認してください。エラーコードが表示されなくなった場合はそのままお使いいただけます。

原因 操作パネルのコードや内部部品が傷ついている、またはポンプ本体の内部部品の故障が疑われます。

処置 上記の処置をしてもエラーコードが継続的に表示される場合は、操作パネルのコードまたは内部部品の故障が疑われます。本製品の使用を中止し、販売店またはここちあセンターまで修理をご依頼ください。

 お問い合わせ先(P.82)

エラーコード「U08」

エラー内容

不正な操作パネルを検知しています。

原因と処置

原因 操作パネルが出荷段階で正常な検査工程を通過していないことが疑われます。

処置 接続されている操作パネルの使用を中止し、販売店またはここちあセンターまで修理をご依頼ください。

 お問い合わせ先(P.82)

エラーコード「U09」

エラー内容

操作パネルのボタンが押され続けていることを検知しています。

原因と処置

原因 操作パネルのしっかりモードボタンまたは操作パネル裏面のメンテナンスボタンが押され続けていることが疑われます。

処置 押されているボタンを離してください。エラーコードが表示されなくなった場合はそのままお使いいただけます。

原因 操作パネルのしっかりモードボタンまたは操作パネル裏面のメンテナンスボタンの故障が疑われます。

処置 上記の処置をしてもエラーコードが継続的に表示される場合は、ボタンの故障が疑われます。本製品の使用を中止し、販売店またはここちあセンターまで修理をご依頼ください。

 お問い合わせ先(P.82)

エラーコードが表示されたら

エラーコード「U10」

エラー内容

複数のエア系統からの空気漏れを検知しています。

原因と処置

原因 カプリング（上・下）がポンプ本体から外れている、またはしっかりと接続されていないことが疑われます。

処置 カプリング（上・下）をポンプ本体に「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。【手順A】を参照して動作確認を行い、エラーコードが表示されなくなった場合はそのままお使いいただけます。

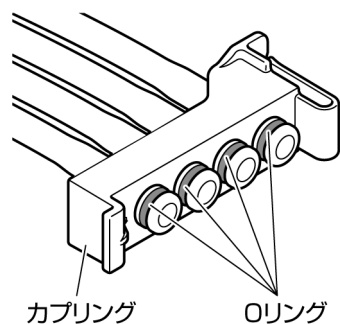
🔧 ポンプ本体の清拭(P.43)

🔧 動作確認【手順A】(P.66)

原因 エアマットレスに乗り降りしていることでエアセルの内圧チェック時に一時的に内圧が低下していたことが疑われます。

処置 臥床後に15分以上経過するか、電源プラグをコンセントに差し直して、エラーコードが表示されなくなった場合はそのままお使いいただけます。

原因 カプリングの破損またはOリングのねじれや脱落が疑われます。



処置 カプリングを確認し、Oリングがねじれている場合はねじれを直してください。【手順A】を参照して動作確認を行い、エラーコードが表示されなくなった場合はそのままお使いいただけます。カプリングの破損やOリングの脱落を確認した場合は、本製品の使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはここちあセンターまで修理をご依頼ください。

🔧 動作確認【手順A】(P.66)

🔧 お問い合わせ先(P.82)

原因 エアセル、ヘッドアップセル、背抜きセル、でん部サポートセルからの空気漏れが疑われます。

処置 上記の処置をしてもエラーコードが継続的に表示される場合は、複数のエアセルからのエア漏れが疑われます。本製品の使用を中止し、販売店またはここちあセンターまで修理をご依頼ください。

🔧 お問い合わせ先(P.82)

エラーコード「U11～U13」

エラー内容

エアセルから空気漏れを検知しています。

原因と処置

原因 エアマットレス本体に乗り降りしていることでエアセルの内圧チェック時に一時的に内圧が低下していたことが疑われます。

処置 【手順A】を参照して動作確認を行い、エラーコードが表示されなくなった場合はそのままお使いいただけます。

🔧 動作確認【手順A】(P.66)

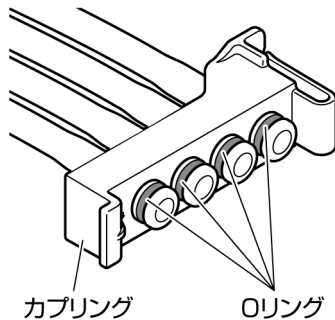
原因 カプリング（下）がポンプから外れている、またはしっかりと接続されていないことが疑われます。

処置 カプリング（下）をポンプに「カチッ」と音がするまでしっかり差し込んでください。【手順A】を参照して動作確認を行い、エラーコードが表示されなくなった場合はそのままお使いいただけます。

🔧 ポンプ本体の清拭(P.43)

🔧 動作確認【手順A】(P.66)

原因 カプリング（下）の破損またはOリングのねじれや脱落が疑われます。



処置 カプリングを確認し、Oリングがねじれている場合はねじれを直してください。【手順A】を参照して動作確認を行い、エラーコードが表示されなくなった場合はそのままお使いいただけます。カプリングの破損やOリングの脱落を確認した場合は、本製品の使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはここちあセンターまで修理をご依頼ください。

🔧 動作確認【手順A】(P.66)

🔧 お問い合わせ先(P.82)

原因 エアセルからの空気漏れが疑われます。

処置 上記の処置をしてもエラーコードが継続的に表示される場合は、当該エアセルからのエア漏れが疑われます。圧切替設定を OFF にして（底付きしにくくなります）、販売店またはここちあセンターまで修理をご依頼ください。

🔧 お問い合わせ先(P.82)

エラーコードが表示されたら

エラーコード「U14~U17」

エラー内容

背抜きセル (U14・U15)、でん部サポートセル (U16)、ヘッドアップセル (U17) のいずれかから空気漏れを検知しています。

原因と処置

原因 エアマットレスへの乗り降りやエアマットレス上での起き上がりなどしていることでエアセルの内圧チェック時に一時的に内圧が低下していたことが疑われます。

処置 【手順B】を参照して動作確認を行い、エラーコードが表示されなくなった場合はそのままお使いいただけます。

🔧 動作確認【手順B】(P.66)

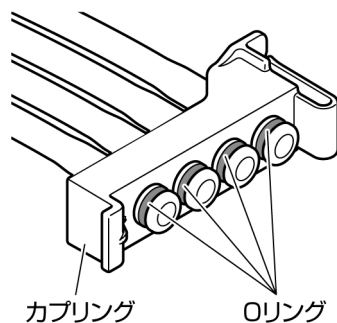
原因 U14、U15、U16 の場合はカプリング (上)、U17 の場合はカプリング (下) がポンプから外れている、またはしっかりと接続されていないことが疑われます。

処置 カプリングをポンプに「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。【手順B】を参照して動作確認を行い、エラーコードが表示されなくなった場合はそのままお使いいただけます。

🔧 ポンプ本体の清拭(P.43)

🔧 動作確認【手順B】(P.66)

原因 U14、U15、U16 の場合はカプリング (上)、U17 の場合はカプリング (下) の破損または Oリングのねじれや脱落が疑われます。



処置 カプリングを確認し、Oリングがねじれている場合はねじれを直してください。【手順B】を参照して動作確認を行い、エラーコードが表示されなくなった場合はそのままお使いいただけます。カプリングの破損やOリングの脱落を確認した場合は、本製品の使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはここちあセンターまで修理をご依頼ください。

🔧 動作確認【手順B】(P.66)

🔧 お問い合わせ先(P.82)

原因 背抜きセル、でん部サポートセル、ヘッドアップセルからの空気漏れが疑われます。

処置 上記の処置をしてもエラーコードが継続的に表示される場合は、該当セルからのエア漏れが疑われます。これらのセルの空気漏れによって底付きが起こることはありませんので、継続してご使用いただけます。ただし、機能の維持のため、販売店またはここちあセンターまで修理をご依頼ください。

🔧 お問い合わせ先(P.82)

エラーコード「U20」

エラー内容

吸引用の電磁弁の異常を検知しています。

原因と処置


原因 吸引のタイミングでエアマットレス上に寝たり、姿勢を変えたことにより一時的に圧力が高くなったことが疑われます。

処置 【手順B】を参照して動作確認を行い、エラーコードが表示されなくなった場合はそのままお使いいただけます。

 動作確認【手順B】(P.66)

原因 背あげ・背さげを繰り返して連続的に吸引したり、ヒーターやストーブの風、電気毛布などの電気機器などによりポンプが高温になり、一時的に電磁弁が開きにくくなっていることが疑われます。

処置 ポンプが温まらないようにしてください。【手順B】を参照して動作確認を行い、エラーコードが表示されなくなった場合はそのままお使いいただけます。

 動作確認【手順B】(P.66)

原因 ポンプの落下などによる電磁弁の故障が疑われます。

処置 上記の処置をしてもエラーコードが継続的に表示される場合は、該当の電磁弁の故障が疑われます。ヘッドアップ・背部サポート・でん部サポートの設定を OFF にして（OFF にすることでその他の機能をお使いいただけます。）販売店またはここちあセンターまで修理をご依頼ください。

 お問い合わせ先(P.82)

エラーコードが表示されたら

エラーコード「U21～U29」

エラー内容

エアセル (U21・U22・U23)、背抜きセル (U24・U25)、でん部サポートセル (U26)、ヘッドアップセル (U27)、除湿 (U28)、排気 (U29) の電磁弁の異常を検知しています。

原因と処置

原因 ヒーターやストーブの風、電気毛布などの電気機器などによりポンプが高温になり、一時的に電磁弁が開きにくくなっていることが疑われます。

処置 ポンプが温まらないようにしてください。

- U21～U23・U28・U29 の場合は、【手順A】を参照して動作確認を行い、エラーコードが表示されなくなった場合はそのままお使いいただけます。

🔧 動作確認【手順A】(P.66)

- U24～U27 の場合は、【手順B】を参照して動作確認を行い、エラーコードが表示されなくなった場合はそのままお使いいただけます。

🔧 動作確認【手順B】(P.66)

原因 ポンプからエアセルの間のチューブが折れて閉塞していることが疑われます。

処置 チューブが折れていないか確認してください。

- U21～U23・U28・U29 の場合は、【手順A】を参照して動作確認を行い、エラーコードが表示されなくなった場合はそのままお使いいただけます。

🔧 動作確認【手順A】(P.66)

- U24～U27 の場合は、【手順B】を参照して動作確認を行い、エラーコードが表示されなくなった場合はそのままお使いいただけます。

🔧 動作確認【手順B】(P.66)

原因 ポンプの落下などによる電磁弁の故障が疑われます。

処置 上記の処置をしてもエラーコードが継続的に表示される場合は、該当の電磁弁の故障が疑われます。

- U21～U23 の場合は圧切替設定を OFF にして（底付きしにくくなります）、販売店またはここちあセンターまで修理をご依頼ください。
- U24～U29 の場合は、これらの電磁弁の故障によって底付きが起こることはありませんので、継続してご使用いただけます。ただし、機能の維持のため、販売店またはここちあセンターまで修理をご依頼ください。

🔧 お問い合わせ先(P.82)

エラーコード「U31」

エラー内容

背角度センサーの通信異常を検知しています。

原因と処置

原因 背角度センサーがポンプ本体にしっかり接続されていないことが疑われます。

処置 背角度センサーのコネクターをポンプ本体に差し込み、コネクターキャップの凸部が水平になるまで時計回りに回してください。エラーコードが表示されなくなった場合はそのままお使いいただけます。


 ポンプ本体の清拭(P.43)

原因 シーツの引きはがしなどの静電気による一時的な電気ノイズの影響が疑われます。

処置 電源プラグをコンセントに差し直して、エラーコードが表示されなくなった場合はそのままお使いいただけます。

原因 背角度センサーのコードが傷ついている、または内部部品の故障が疑われます。

処置 上記の処置をしてもエラーコードが継続的に表示される場合は、背角度センサーのコードまたは内部部品の故障が疑われます。ヘッドアップ、背部サポート、でん部サポートの設定を OFF にして（OFF にすることでその他の機能をお使いいただけます。）販売店またはここちあセンターまで修理をご依頼ください。

 お問い合わせ先(P.82)

エラーコードが表示されたら

エラーコード「U34」


エラー内容

背角度センサーが異常な値を検知しています。

原因と処置

原因 本製品が表裏逆に設置されていたり、「ベッドからはみ出している」「立てておかれている」「折り曲げられている」ことが疑われます。

処置 本製品をベッド上に正しく設置してください。エラーコードが表示されなくなった場合はそのままお使いいただけます。

 設置方法(P.12)

原因 背角度センサーがボトムカバーのポケットの外に出ているか、またはポケットの中でセンサーの表裏がひっくり返っていることが疑われます。

処置 背角度センサーを確認し、センサーのケースに△マークが表示されている方を表向きにしてポケットに入れ、ポケット出口の紐でコードを結んで固定してください。エラーコードが表示されなくなった場合はそのままお使いいただけます。

原因 シーツの引きはがしなどの静電気による一時的な電気ノイズの影響が疑われます。

処置 電源プラグをコンセントに差し直して、エラーコードが表示されなくなった場合はそのままお使いいただけます。

動作確認【手順A】

ご利用様がエアマットレス上に寝ており、移動が難しい場合は、以下の手順で動作確認をしてください。

1. 「かたさ自動」「圧切替」「除湿」の機能を ON にする。

🔧 かたさ自動運転(P.20)

🔧 圧切替設定(P.24)

🔧 除湿設定(P.26)

2. ベッドの背を 10°以下に下げた後に、エアマットレスの電源プラグをコンセントから抜き、再度電源プラグをコンセントに差し込む。

ベッドの操作方法については、ベッドの取扱説明書を参照してください。

3. エアマットレスの電源が ON になったら、180 分以上待機する。

4. 操作パネルにエラーコードが表示されていないことを確認する。

空気漏れがある場合は、エラーコードが表示されます。エラーコードが操作パネルに表示された場合、各エラーコードの処置を確認してください。

処置をしても正常に動作しない場合は本製品の使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはここちあセンターまで修理をご依頼ください。

🔧 エラーコードが表示されたら(P.54)

🔧 お問い合わせ先(P.82)

Note

ご利用様がエアマットレス上に寝ていない場合は、【手順C】で動作確認を行ってください。

🔧 動作確認【手順C】(P.67)

動作確認【手順B】

ご利用様がエアマットレス上に寝ており、移動が難しい場合は、以下の手順で動作確認をしてください。

1. 「自動背抜き」「ヘッドアップ」「背部サポート」「でん部サポート」のすべての機能を ON にする。

🔧 自動背抜き設定(P.27)

🔧 ヘッドアップ設定(P.28)

🔧 背部サポート設定(P.29)

🔧 でん部サポート設定(P.30)

2. ベッドの背を 30°以上にあげ、120 分以上待機する。ベッドの操作方法については、ベッドの取扱説明書を参照してください。

3. 操作パネルにエラーコードが表示されていないことを確認する。

空気漏れがある場合は、エラーコードが表示されます。エラーコードが操作パネルに表示された場合、各エラーコードの処置を確認してください。

処置をしても正常に動作しない場合は本製品の使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはここちあセンターまで修理をご依頼ください。

🔧 エラーコードが表示されたら(P.54)

🔧 お問い合わせ先(P.82)

Note

ご利用様がエアマットレス上に寝ていない場合は、【手順C】で動作確認を行ってください。

🔧 動作確認【手順C】(P.67)

エラーコードが表示されたら

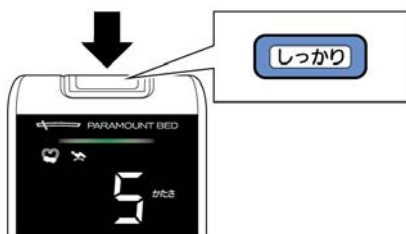
動作確認【手順C】

しっかりモードを使用して、空気漏れを確認してください。

📖 しっかりモード設定(P.23)

確認手順

1. エアマットレスの電源プラグをコンセントに差し込む。
2. しっかりモードボタンを押す。
ボタンが青く点灯し、しっかりモードが作動 ON になります。



Note

ボタンが青く光っていない場合は、空気漏れの確認はできません。再度電源プラグをコンセントから抜き、最初から手順を行ってください。

- 状態表示に残り時間が表示されます。
- 「準備中」表示が点灯します。



3. 「準備中」表示が消えるまで待機する。
エアマットレス本体の状態にもよりますが、20分程度掛かります。
4. 空気漏れは、しっかりモード中に確認する。

Note

しっかりモードは ON にしてから 60 分経過すると自動で OFF になりますのでご注意ください。

空気漏れがない場合

エラーコードは表示されず、残り時間が表示されています。

空気漏れがある場合


エラーコードが表示されます。エラーコードが操作パネルに表示された場合、各エラーコードの処置を確認してください。処置をしても正常に動作しない場合は本製品の使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはここちあセンターまで修理をご依頼ください。

📖 エラーコードが表示されたら(P.54)

📖 お問い合わせ先(P.82)

故障かな？と思ったら

故障ではない場合がありますので、修理を依頼される前にもう一度、以下の項目をチェックしてください。チェック・処置をしても正常に動作しない場合や原因が分からない場合は、本製品の使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはここちあセンターまで修理をご依頼ください。

 お問い合わせ先(P.82)

エアマットレス本体関連

■部分的にエアセルの空気が抜けている

原因 圧切替が設定されているため、エアセルが順次膨張・収縮します。

処置 故障ではありません。


■エアマットレス本体が柔らかすぎる／底づきしてしまう

原因 ご利用者様がベッドから離れた際にかたさが自動で調整されたことが疑われます。

処置 故障ではありません。ご利用者様が寝られると再び適したかたさに自動で設定されます。


原因 かたさ手動運転で極端に柔らかい設定しているか、かたさ手動運転でベッドの背あげをしていることが疑われます。

処置 底付かないことを確認しながら、かたさを手動設定するか、かたさ自動運転をご使用ください。

 かたさ手動運転(P.21)

原因 骨突出・円背・下肢拘縮が顕著な方が本製品を使用し、ご利用者様の体型、姿勢、体動などの影響によりかたさ自動運転や姿勢検知による内圧上昇機能が正しく動作していないことが疑われます。

処置 故障ではありません。ご利用者様の体型・姿勢・体動などの影響により、かたさ自動運転や姿勢検知による内圧上昇機能が正しく動作していないことがあります。底付いてしまう場合は、底づかないことを確認しながら、かたさ手動運転でかたさ設定を上げてください。


 かたさ手動運転(P.21)

故障かな？と思ったら

■エアエアマットレス本体が硬すぎる


原因 かたさ手動運転で極端に硬くする設定していることが疑われます。

処置 かたさ設定の目安を見ながら、かたさを手動運転するか、またはかたさ自動運転をご使用ください。

 かたさ手動運転(P.21)


原因 しっかりモードが ON になっている（操作パネルのしっかりモードボタンが青く点灯）ことが疑われます。

処置 しっかりモードが ON の時は、エアマットレス全体がとても硬くなります。必要時以外はしっかりモードを OFF にしてください。

 しっかりモード設定(P.23)

原因 ご利用者様の体型（骨突出、円背、拘縮）や姿勢（背あげ、長座位）などを検知してかたさ自動設定がかたさを高く設定していることが疑われます。


処置 故障ではありません。かたさ自動運転機能は、ご利用者様の沈み込み量に対してエアマットレスのかたさをバランスをとるように硬くする機能です。沈み込みの多い体型や姿勢の時には通常より 5 以上もかたさを硬くすることがあります。また、各かたさはエアマットレスとして柔らかく使用できる内圧の範囲を 20～180kg で割り振ったものであり、かたさの数字とエアセルの内圧が比例するものではありませんので安心してお使いください。（例：かたさ 4 はかたさ 2 の 2 倍のかたさではありません）

 かたさ自動運転(P.20)

■エアマットレスのかたさとご利用者様の体重が合わない


原因 ご利用者様の体型（骨突出、円背、拘縮）や姿勢（背あげ、長座位）による沈み込み量の増加、またはポジショニングクッションなどを使用することによる沈み込み量の減少を検知して、かたさ自動設定がかたさを通常より高くまたは低く設定していることが疑われます。

処置 故障ではありません。かたさ自動運転機能は、ご利用者様の沈み込み量に対してバランスをとるようにエアマットレスのかたさを自動で設定する機能であり、ご利用者様の体重を測定することを目的とした機能ではありません。底付いている場合やかたさが気になる場合は底付かないことを確認しながら、かたさを手動設定してください。

 かたさ手動運転(P.21)

原因 エアマットレス本体のサイズ印字の幅と操作パネルの自動かたさ設定の幅設定が間違っていることが疑われます。

処置 操作パネルの自動かたさ設定の幅設定をエアマットレス本体の印字の幅とあわせてください。

 かたさ自動運転(P.20)

機能・動作関連


■背角度 20°以上にしてもヘッドアップ・背部サポート・でん部サポートが作動しない

原因 ご使用のベッドの背角度表示のばらつきや本製品の設置状態、センサー部品のばらつきによって、ヘッドアップ・背部サポート・でん部サポートが作動する角度にずれが生じていることが疑われます。

処置 故障ではありません。製品やご使用のベッドにより 20°より 5~10°程度高めめの背角度から作動することがあります。

原因 背角度が 65°以上になっていることが疑われます。

処置 故障ではありません。背角度センサーが背角度 65°以上を検知すると、自動でヘッドアップセルが収縮します。

 ヘッドアップ設定(P.28)

■背角度 20°以下なのにでん部サポートセルが膨らむ


原因 かたさ自動運転中はかたさ判定のため、でん部サポートセルが膨らむことがあります。

処置 故障ではありません。

■背角度 20°以下でヘッドアップセルが完全に収縮しない

原因 ヘッドアップセルは背あげ時に膨らむ時間を短縮するために、背角度 20°以下でも完全には収縮しないようになっています。


処置 故障ではありません。完全に収縮させたい場合は再び背角度を 20°以上にしてヘッドアップが作動し始めた（操作パネルのヘッドアップボタンが点灯する）ことを確認した後に、すぐに背角度を 20°以下にさげてヘッドアップ設定を OFF にしてください。ヘッドアップセルがより吸引されます。（次回背あげ時にヘッドアップが膨らむまでの時間が長くなります）

 ヘッドアップ設定(P.28)

■仰臥位で寝ているのに姿勢検知による内圧上昇表示が点灯する

原因 ご利用者様の寝位置が前後左右にずれており、姿勢検知機能が正しく作動していないことが疑われます。

処置 ご利用者様の寝位置をベッドの寝位置に合わしてください。それでも表示される場合はかたさ手動運転にしてお使いください。


 かたさ手動運転(P.21)

故障かな？と思ったら

■エアセルが圧切替しない／ヘッドアップ・背部サポート・でん部サポートが作動しない

原因 しっかりモードが ON になっている (操作パネルのしっかりモードボタンが青く点灯) ことが疑われます。


処置 故障ではありません。しっかりモード ON の時は、圧切替・ヘッドアップ・背部サポート・でん部サポートは作動しません。

 [しっかりモード設定\(P.23\)](#)

■しっかりモード中に各サポートセルが膨張する／しっかりモード中に「準備中」表示がなかなか消灯しない

原因 電源投入後、初回のしっかりモードは動作確認のため、各サポートセルの膨張収縮を行った後に「準備中」表示が点灯します。

処置 故障ではありません。各サポートセルを収縮させたい場合は一度しっかりモードを OFF にして、再び ON にしてください。

 [しっかりモード設定\(P.23\)](#)

操作パネル関連

■操作パネルの電源が入らない


原因 電源プラグがコンセントに差し込まれていないか、電源コードが AC アダプターに接続されていない、または AC アダプターのコネクタがポンプ本体に接続されていないことが疑われます。

処置 電源プラグがコンセントに差し込まれていること、電源コードが AC アダプターに接続されていること、または AC アダプターのコネクタがポンプ本体に接続されていることを確認してください。

 ポンプ本体の清拭(P.43)

原因 操作パネルがポンプに接続されていないことが疑われます。

処置 操作パネルのコネクタをポンプに差し込み、コネクタキャップの凸部が水平になるまで時計回りに回してください。

 ポンプ本体の清拭(P.43)

原因 コンセントに電気が来ていないことが疑われます。

処置 ほかの電気機器のプラグを差し込んで、コンセントに電気が来ているかを確認してください。

原因 電源コードの破損または AC アダプター内部部品の破損が疑われます。

処置 上記の処置をしても症状が電源が入らない場合は、電源コードの破損または AC アダプター内部部品の破損が疑われます。接続されている電源コードと AC アダプターの使用を中止し、販売店またはここちあセンターまで修理をご依頼ください。

 お問い合わせ先(P.82)

■設定ボタンを押しても「ピピピッ」となるだけで設定モードにならない

原因 設定ボタンを押している時間が短いことが疑われます。

処置 設定モードに入るときは、設定ボタンを2秒長押ししてください。

■押していないボタンが反応する

原因 操作パネルを操作する際に他のボタンが反応していることが疑われます。


処置 操作パネルの他のボタンに触れないようにしながら、再度設定ボタンを押してください。

故障かな？と思ったら

■「Aut」「hu1」「hu2」「hu3」と表示される

原因 操作パネルのヘッドアップボタンに触れると、ヘッドアップセルのかたさ設定を表示します。

処置 故障ではありません。**Auto**は自動（Auto）設定の意味を示しています。

 ヘッドアップ設定(P.28)

■ベッドリンクマークが点滅している

原因 ベッドリンクケーブルが傷ついている、または内部部品の故障が疑われます。

処置 ベッドリンクケーブルを取り外し、電源プラグをコンセントに差し込んでください。ただし、機能の維持のため、販売店またはここあセンターまで修理をご依頼ください。

 お問い合わせ先(P.82)

ポンプ本体関連

■ポンプ本体内部で「コンコン」と音がする


原因 電磁弁の開閉音であり正常に動作しています。

処置 故障ではありません。

■ポンプ本体がうるさい

原因 ポンプ本体が正しい位置に設置されていないことが疑われます。

処置 指定されている方法で、ポンプ本体を正しく設置してください。

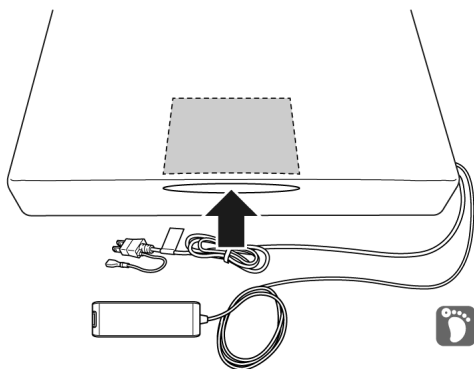
 ポンプ本体の清拭(P.43)

長期保管・輸送

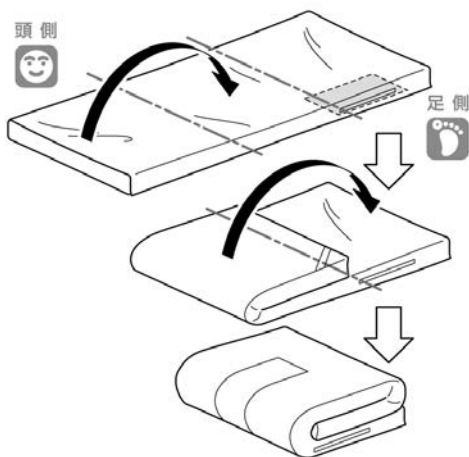
長期にわたり本製品をご使用にならないときや梱包して輸送するときは、本製品を段ボールに入れてから保管・輸送してください。

梱包方法

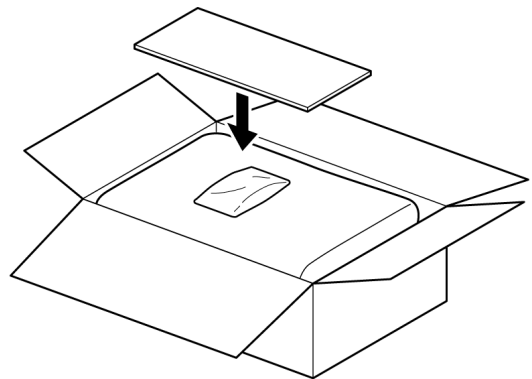
1. 電源プラグをコンセントから抜く。
2. 電源コードと操作パネルをエアマットレス本体の収納ポケットに入れる。



3. エアマットレス本体を頭側から三つ折りにする。



4. エアマットレス本体・取扱説明書・付属品などをお買い上げ時に入っていたパッドと段ボール箱に入れる。

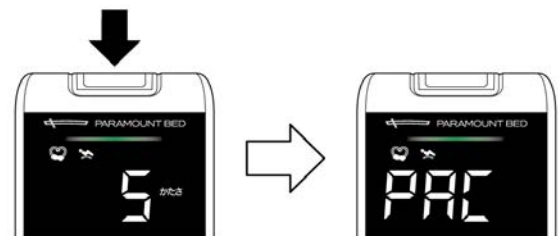


片付けアシスト機能

ポンプ本体でエアセル内の空気を吸引する機能です。

1. エアマットレス本体とポンプ本体が接続された状態で、しっかりボタンを押しながら電源プラグをコンセントに差し込む。

約 10 秒経過すると、状態表示画面に PAC と表示され、片付けアシスト機能が動作します。



エアセル内の空気がすべて吸引されると「ピーー」という音が鳴り、動作を停止します。(吸引時間: 16 分)

⚠ 注意

あらかじめエアセルから空気を抜いた状態で、片付けアシスト機能を使用しないでください。必要以上にエアセル内の空気が吸引され負荷がかかることでエアセルやポンプ本体の故障の原因となります。

保管について

 **注意**

- 保管温度・湿度の範囲内で保管してください。カビの発生や故障の原因となります。
 - 重いものを載せないでください。破損・変形の原因となります。
 - ポンプ本体をエアマットレス本体から取外して保管してください。破損・変形の原因となります。
- 高温・多湿・低温・乾燥・ほこりの多い場所・直射日光を避けてください。
 - 保管環境：温度 -10～60℃ 湿度 0～85% RH
 - 詰め物（エアセル・送風チューブなど）が変色するおそれがありますが、製品の機能に問題はありません。
 - におい（ウレタン臭など）が気になる場合は、風通しのよい日陰にエアマットレスを 1 日放置したり、本製品をお手入れすることでにおいは低減します。
 - 取扱説明書を紛失しないように大切に保管してください。

廃棄

- 各パーツを素材ごとに分けてください。
- 廃棄の際は、「廃棄物の処理および清掃に関する法律」および各自治体の規制に従ってください。

仕様

仕様

ドライタイプ

品番		KE-941U	KE-942U	KE-943U	KE-944U
エアマットレス本体	幅×長さ×厚さ (cm)	91x191x17	91x180x17	83x191x17	83x180x17
	製品質量 (kg)	8.9	8.5	8.4	7.8
	トップカバー	ポリエステル 50%・ポリウレタン 50% (抗菌・難燃・防水・透湿・吸放湿)			
	グライドシート生地	ポリエステル 100%			
	ウレタンフォーム	ポリウレタン (難燃)			
	ボトムカバー	ポリエステル 90%・ポリウレタン 10% (抗菌・難燃)			
	ポンプカバー	ポリエステル 90%・ポリウレタン 10% (抗菌・難燃)			
	ウレタンカバー	ポリエステル 100%			
	ボトムクッション	ポリウレタン (難燃)			
	チューブ	塩化ビニル 100% (抗菌・難燃)			
	エアセル	ポリウレタン 100% (抗菌・難燃)			
	カプリング	PC/PBT 樹脂 (難燃)			
	センサーケース	PC/PBT 樹脂 (難燃)			
ポンプ本体	製品質量 (kg)	3.4			
	ケース	ABS 樹脂 (難燃・耐薬)			
操作パネル	製品質量 (kg)	0.3			
AC アダプター	製品質量 (kg)	0.3			
電源コード	長さ (m)	4.5			
	製品質量 (kg)	0.4			
使用環境条件	温度/湿度	0~40°C / 30~85% RH			
保管環境条件	温度/湿度	-10~60°C / 0~85% RH			
利用者体重 (kg)		20~180			
電源電圧 (V)		DC24			
消費電力 (W)		20			
耐用年数		5年[自己認証 (当社データ) による] ※ただし、消耗部品は除く			

通気タイプ

品番		KE-941T	KE-942T	KE-943T	KE-944T
エアマットレス本体	幅×長さ×厚さ (cm)	91x191x17	91x180x17	83x191x17	83x180x17
	製品質量 (kg)	8.6	8.0	8.0	7.8
	トップカバー	ポリエステル 100% (抗菌・難燃・防カビ・撥水)			
	グライドシート生地	ポリエステル 100%			
	ウレタンフォーム	ポリウレタン (難燃)			
	ボトムカバー	ポリエステル 100% (抗菌・難燃・防カビ) ※背角度センサー部：ポリエステル 90%・ポリウレタン 10%			
	ポンプカバー	ポリエステル 90%・ポリウレタン 10% (抗菌・難燃)			
	ウレタンカバー	ポリエステル 100%			
	ボトムクッション	ポリウレタン (難燃)			
	チューブ	塩化ビニル 100% (抗菌・難燃)			
	エアセル	ポリウレタン 100% (抗菌・難燃)			
	カプリング	PC/PBT 樹脂 (難燃)			
	センサーケース	PC/PBT 樹脂 (難燃)			
ポンプ本体	製品質量 (kg)	3.4			
	ケース	ABS 樹脂 (難燃・耐薬)			
操作パネル	製品質量 (kg)	0.3			
AC アダプター	製品質量 (kg)	0.3			
電源コード	長さ (m)	4.5			
	製品質量 (kg)	0.4			
使用環境条件	温度/湿度	0~40°C / 30~85% RH			
保管環境条件	温度/湿度	-10~60°C / 0~85% RH			
利用者体重 (kg)		20~180			
電源電圧 (V)		DC24			
消費電力 (W)		20			
耐用年数		5 年[自己認証 (当社データ) による] ※ただし、消耗部品は除く			

適合ベッド一覧

適合ベッド一覧



警告

エアマットレスと組み合わせて使用するベッドなどは弊社が指定する適合品をご使用ください。指定以外の製品や他社製品と組合せると、意図せぬすき間の発生や製品同士の接触、安定性の低下などにより、けがをしたりエアマットレスが破損したりするおそれがあります。

- アリウスシリーズ・アリウスシリーズ ICU
- A6 シリーズ
- KA-85000 シリーズ
- KA-60000 シリーズ
- メーティス PRO シリーズ
- メーティスシリーズ
- ウッディー／ドージェシリーズ
- スタンダードベッド
- KA-5000 シリーズ
- アルデコラシリーズ
- KA-4000 シリーズ
- エスパシアシリーズ
- カリストエールシリーズ
- KA-7900 シリーズ
- FeeZ シリーズ
- ベーシックベッド
- KA-4351 (ドミトリーベッド)
- KR シリーズ
- KR+シリーズ
- 楽匠フィットシリーズ
- 楽匠プラスシリーズ
- 楽匠 Z シリーズ
- 楽匠 FeeZ シリーズ
- レントシリーズ
- 楽匠 S シリーズ
- 楽匠シリーズ
- KQ-5000 シリーズ
- KQ-50000 シリーズ
- KQ-60000 シリーズ
- KQ-B6000 シリーズ
- INTIME1000 シリーズ
- INTIME2000 シリーズ
- RA-C1 モデル／RA-C2 モデル

Note

- 小児ベッドは適合しません。
- 延長フレーム・延長マットレス・78cm 幅・100cm 幅は除きます。
- 適合品は仕様変更などにより変わる場合があります。最新の情報やご不明な点は販売店または直接弊社までお問い合わせください。

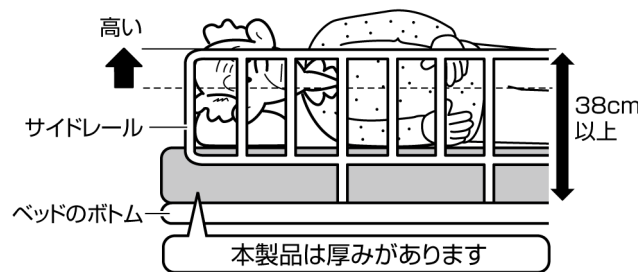
📞 お問い合わせ先(P.82)

その他の適合品

警告

エアマットレスと組合せて使用するベッドなどは弊社が指定する適合品をご使用ください。指定以外の製品や他社製品と組合せると、意図せぬすき間の発生や製品同士の接触、安定性の低下などにより、けがをしたりエアマットレスが破損したりするおそれがあります。

- ベッドサイドレール・スイングアーム介助バー・サイドグリップの取扱説明書および弊社のカタログもあわせてご確認のうえ、適合が認められている製品から選択し、かつ適合基準を満たす組合せでご使用ください。
- ベッドのボトムからベッドサイドレール・スイングアーム介助バー・サイドグリップの上端までの距離が38cm以上であることを確認してください。



Note

- 同じベッドサイドレールやスイングアーム介助バー・サイドグリップでも適合するベッドが異なります。ご使用になるベッドとベッドサイドレールなどの組合せで確認してください。
- 適合品は仕様変更などにより変わる場合があります。最新の情報やご不明な点は販売店または直接弊社までお問い合わせください。

📞 お問い合わせ先(P.82)

アフターサービスについて

保証書

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、記載内容をよくお読みいただき大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

販売店名・お買い上げ日の記入が無い場合は、品番・販売店・お買い上げ日が確認できるように、製品をお買い上げの領収書などを保証書と一緒に保管してください。

修理を依頼される時

取扱説明書の「故障かなと思ったら」に従って調べてください。

それでも直らないときは、エアマットレスの電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはここちあシリーズ製品専用の修理受付窓口であるここちあセンターまでご連絡ください。

■連絡していただきたい内容

- 品名、品番、製品識別表示ラベルの番号
☎ 各部の名称(P.4)
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
- 施設名、お名前、ご住所および電話番号

■消耗部品について

操作パネル・フィルター・ベッド配線用クランプ・ケーブルクランプ・グライドシートのウレタンフォーム・ポンプ本体内部部品・コードクリップは消耗部品です。

■保証期間内のとき

保証書の記載内容に基づき無償で修理いたします。ただし、保証期間内でも修理が有償になる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。

■保証期間が過ぎているとき

修理により使用できる製品については、ご要望により有償で修理いたします。

部品の最低保有年数

弊社では本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間を製造打ち切り後8年としております。

お問い合わせ先

アフターサービスについてご不明な場合、お買い上げの販売店、またはここちあセンターまでお問い合わせください。

ここちあセンター

- ここちあセンターは、パラテクノ株式会社のここちあシリーズ製品専用のお問い合わせ窓口です。
- パラテクノ株式会社は、弊社製品の修理や保守点検などの各種サービスを実施する会社です。

電話番号：0120-02-5518（フリーダイヤル）

受付時間：平日 8:00～18:00／土・日・祝日 9:00～17:00（年始は休業いたします）

パラマウントベッド株式会社

本 社	〒136-8670	東京都江東区東砂 2 丁目 14 番 5 号	(03)3648-1111（大代）
東京支店	〒136-8670	東京都江東区東砂 2 丁目 14 番 5 号	(03)3648-1171（代）
札幌支店	〒060-0062	札幌市中央区南 2 条西 13 丁目 318 番地 11	(011)271-1181（代）
仙台支店	〒984-0015	仙台市若林区卸町 2 丁目 3 番地の 3	(022)239-5211（代）
さいたま支店	〒336-0967	さいたま市緑区美園 3 丁目 23 番 1	(048)878-0100（代）
横浜支店	〒194-0004	東京都町田市鶴間 5 丁目 3 番 33 号	(042)795-8800（代）
名古屋支店	〒461-0001	名古屋市東区泉 1 丁目 20 番 17 号	(052)963-0600（代）
大阪支店	〒550-0001	大阪市西区土佐堀 2 丁目 3 番 33 号	(06)6443-8791（代）
高松営業所	〒761-8031	高松市郷東町 2 2 3 番 1	(087)881-8900（代）
広島支店	〒733-0011	広島市西区横川町 3 丁目 8 番 5 号	(082)293-1311（代）
福岡支店	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東 3 丁目 14 番 20 号	(092)461-1131（代）



PARAMOUNT BED